

目 录

序言	1
本册内容与结构	4

正課

第1課	こんにちは	10
第2課	王さんの日記	26
第3課	五目ずしの作り方	40
第4課	言葉使いーレストランで	58
第5課	梅雨と日本の家屋	75
第6課	七夕	90
第7課	地震の起こる日	104
第8課	数字をめぐって	121
第9課	夏休みの計画	139
第10課	上野駅で	152
第11課	旅と交通	169
第12課	京都からの手紙	183
第13課	50億人目の赤ちゃん	202
第14課	鳥になりたい	217
第15課	小さい物への愛着	233
第16課	コンピュータの発達	249
第17課	天気予報	266
第18課	高齢化社会	282
第19課	新聞の投書から	295
第20課	日本語と漢字	309

<词语之窗>

复合词	73
-----------	----

第1課

第1課 こんにちは

(1)

こんにちは、私は王と言います。去年の6月に、留学生として日本にやって来ました。

初めのうちは、言葉や習慣の違いから失敗ばかりしていましたが、最近はこちらの生活にもだいぶ慣れてきました。大学へ通っているうちに、何でも気軽に話し合える友達もできました。

鈴木先生は私が通っている大学の先生です。御専門は言語学で、私たち留学生に日本語を教えていらっしゃる。私が日本語についてわからないことを聞きに行くと、いつも丁寧に教えてくださいます。勉強以外のこともいろいろと相談に乗ってくださいます。

先生は、現代の中国に興味がおありになるそうで、ときどき中国のことをお尋ねになります。そんな時、私は喜んで中国のことを説明して差し上げます。

私は、これから、自分が知りたいことや興味があることについて、いろいろな本を読んでどんどん勉強していこうと思っています。日本の自然や社会・歴史・文化、それに科学技術など、知りたいと思うことがいっぱいあります。小説や詩のような文学作品も日本語で読んでみ

第1課

たいと思っています。

旅行の計画もあります。今度の夏休みに、日本の各地を訪れようと思っています。夏休みが終わるまでに、できるだけいろいろな所に行って、見聞を広めるつもりです。

(2)

王：先生。このごろ私は、日本の文化や歴史の勉強がとてもおもしろくなってきました。

鈴木：そうですか。それなら、私も本がありますよ。これは、日本の文化を詳しく解説したものです。これを貸してあげましょう。

王：ありがとうございます。ぜひ読んでみたいです。いつごろまでお借りしてよろしいでしょうか。

鈴木：来月までいいですよ。ぜひ読んで感想を聞かせてください。

王：では、遠慮なくお借りします。ちょうど、これから、本をどんどん読んで勉強しようと思っていたところなんです。

鈴木：いいですね。やる気を持つのがいちばん大切ですよ。がんばってください。



第2課

第2課 王さんの日記

(1)

王さんは、毎日、日記を書いています。このあいだまでは、中国語で書いていました。けれど、先日、鈴木先生に「日本語で日記を書いてみたらどうですか。」と勧められたので、最近は日本語で日記を書いています。

6月10日 火曜日 晴れ

授業が終わってから、図書館へ行って本を借りた。図書館の前で、佐藤さんに会った。

佐藤さんは、日本人の学生の中でいちばん仲の良い友達だ。将来は日本語の教師になりたいそうだ。いつも明るく朗らかで、冗談を言って、よく私たちを笑わせる。

二人で喫茶店に行って、しばらく話をした。日本語の難しさなどについて話をしているうちに、映画の話題になった。佐藤さんは映画が好きで、週に一度は見に行くそうだ。

話がはずんで、あさっての木曜日に、いっしょに映画を見に行くことになった。あさってが楽しみだ。

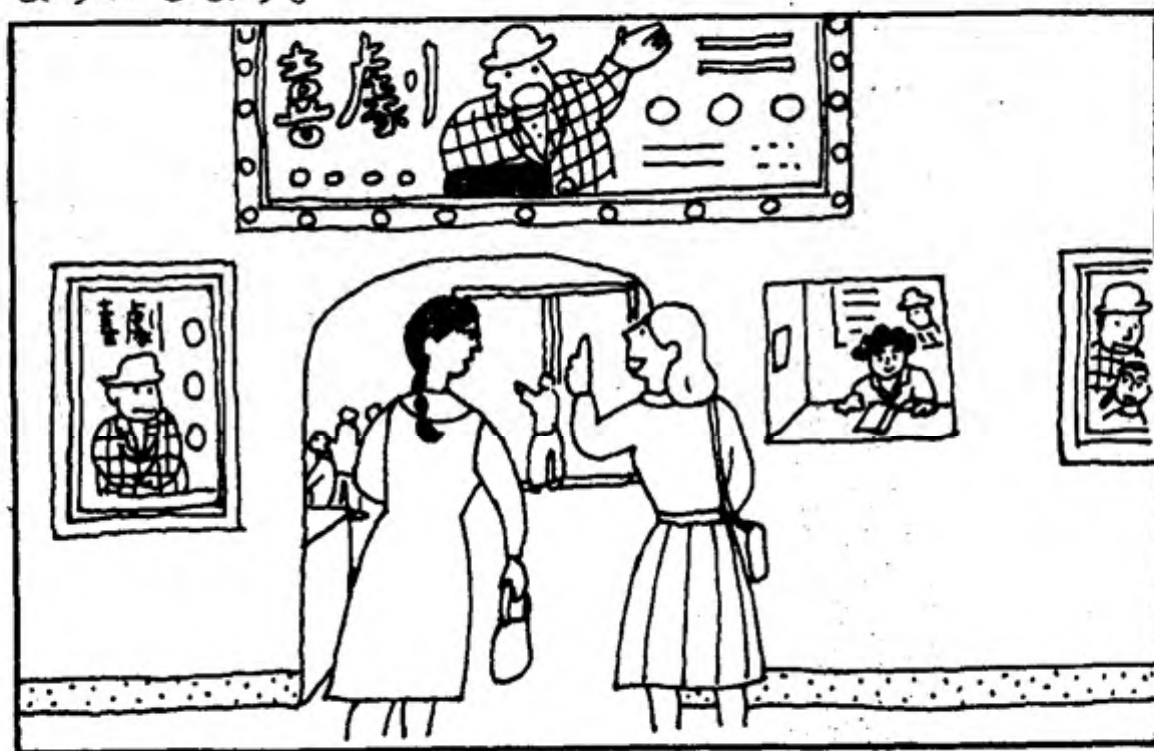
6月12日 木曜日 雨

午後5時に、渋谷の駅前で佐藤さんと待ち合わせて、いっしょに映画に行った。

佐藤さんが連れて行ってくれたのは、喜劇映画だった。佐藤さんは、思い切り笑える映画が好きだそうだ。いかにも佐藤さんらしいと思った。

映画を見るのは久しぶりだ。せりふが速すぎてわかりにくい場面もあったけれど、画面を見ているうちに、なんとなく意味がわかった。それに、日本人のユーモアの感覚も、少しわかったような気がする。

映画を見るのは楽しい。そのうえ、言葉の勉強にもなる。これからは、暇を見つけて、できるだけ映画を見るようにしよう。



第2課

(2)

佐藤：どうでした。おもしろかったですか。

王：ええ，とてもおもしろかったです。思わず，吹き出してしまったところもありましたよ。

佐藤：そうですか。映画を見て笑えるなら，たいしたものですよ。私が知らないうちに，王さんはずいぶん日本語が上達したんですね。まるで，もう何年も日本にいる人のようですね。

王：そうでもないですよ。映像があったから，なんとなく意味がわかったんです。

佐藤：王さんは，ふだんあまり映画は見ないんですか。

王：ええ。去年の夏に見たきり，1年ぐらい見ていなかったんです。

佐藤：そうですか。映画は言葉の勉強になるから，できるだけ見るようにしたらいかがですか。おもしろそうな映画があったら，また誘いますから。いっしょに見に行きましょう。

第3課

第3課 五目ずしの作り方

(1)

王さんと張さんは、今日、田中さんの家に夕食に招かれました。

田中さんは旅行会社に勤めていて、日本を訪れる外国の旅行者のために、いろいろと便宜を図ってくれます。王さんも張さんも、去年中国から日本へ来る時に、田中さんの世話になりました。

田中さんの家族は、田中さんと奥さん、それにお嬢さんの純子さんの三人です。今日は、田中さんの奥さんが、二人のために手作りの五目ずしをごちそうしてくださるそうです。王さんは早めに田中さんの家へ行って、奥さんに五目ずしの作り方を教わりました。そして、次のようなメモを作りました。

※材料（5人前）

米…3合 筍…100グラム

しいたけ…4個 れんこん…1本

にんじん…50グラム さやえんどう…30グラム

海老…100グラム 卵…3個

第3課

だし汁，酒，砂糖，醤油，酢

※作り方

五目ずしを作るには，まず始めに，普通より少し固めに御飯を炊く。そして，御飯を炊いている間に，具を用意する。

筍・しいたけは，細かく切り，だし汁・酒・砂糖・醤油で煮る。れんこんは，薄く切って，だし汁・酒・酢・砂糖で煮る。にんじん・さやえんどうは，細く切ってさっとゆでる。海老もさっとゆでる。卵は，薄く焼いてから細く切っておく。

次に，御飯が炊き上がったたら，熱いうちに酢と砂糖を振りかけて混ぜる。そして，用意した具を，卵を除いて順番に混ぜ合わせる。

最後に，皿に盛り付けてから，卵を載せ，好みで，のりや紅しょうがを添えるとよい。



(2)

奥さん：王さん，五目ずしの作り方はそれほど難しくな
いでしょう。

王：そうですね。でも，具を細かく切るのが難しい
ですね。しいたけを切っている時，もう少しで
指を切りそうになりました。

奥さん：危ない，危ない。わたしも今，熱い鍋にさわっ
て，もうちょっとでやけどをするところでした。

王：だいじょうぶですか。

奥さん：ええ，たいしたことはありません。さあ，こう
して，卵とのかりと紅しょうがを載せるとできあ
がりです。

王：とてもきれいですね。

奥さん：そうですね。見た目にきれいな料理は，食欲
が出ますからね。

第4課

第4課 言葉使い～レストランで

(1)

田 中： 君は何にする。

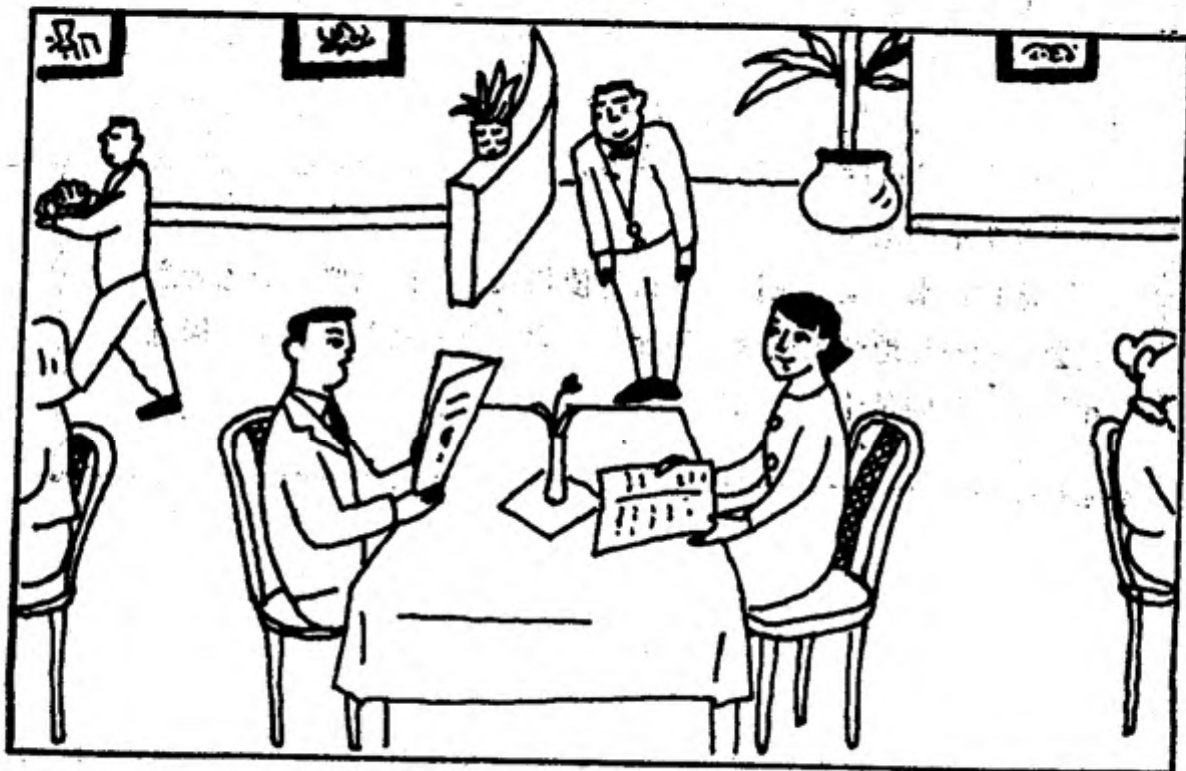
奥さん： メニューを見せてちょうだい。

田 中： ほら、メニューだよ。

奥さん： ええと、ハンバーグとライスと野菜サラダ。それから、アイスクリームがいいわ。

田 中： へえ。太るのを気にしてるわりには、ずいぶん食べるんだなあ。

奥さん： まあ、失礼ね。でも、食べ過ぎかしら。



第4课

田中：ははは。冗談だよ。レストランなんか、めったに
来ないんだから、いっぱい食べたらいいさ。ぼく
は、カレーライスとコーヒーにしよう。

店員：ご注文はお決まりでしょうか。

田中：ええ。ハンバーグにライスに野菜サラダにアイス
クリーム。それに、カレーライスとコーヒーをく
ださい。

店員：はい、かしこまりました。アイスクリームとコー
ヒーは、お食事の後でお持ちすればよろしいでし
ょうか。

田中：ええ、そうしてください。

店員：はい、かしこまりました。

(2)

(1) は、田中さんと奥さんが、レストランに行った
時の会話です。二人が話しているところに、レストラン
の店員がやって来た場面です。この会話には、日本語の
話し言葉の特徴が、いくつか現れています。

日本語の会話では、人間関係によって言葉使いがずい
ぶん変わります。家族や友達同士のような親しい関係で
は、「です」「ます」を使った丁寧な言い方はあまりしま
せん。「何にしますか。」という言い方ではなく、「何に
する。」と、くだけた言い方をするのが普通です。

第4課

田中さんは、奥さんに対してくださった言い方をしていますが、レストランの店員に対しては、丁寧な言い方をしています。店員は、田中さんに向かって特に丁寧な言葉使いをしています。親しい関係でないうえに、店員と客という立場の違いがあるので、特別丁寧なのです。

日本語には、男性と女性の言葉使いにも違いがあります。例えば、自分のことを「ぼく」と言うのは、男性特有の言葉使いです。女性は普通「わたし」と言います。逆に、「食べ過ぎかしら。」という表現は、主に女性の言葉使いです。男性だったら、「食べ過ぎかな。」などと言います。

親しさの度合いや、立場の違いなどの人間関係によって、言葉使いが変わったり、男性と女性で言葉が違ったりするのは、日本語の話し言葉の大きな特徴です。日本語のおもしろいところでもあり、また難しいところでもあります。

第5課 梅雨と日本の家屋

(1)

日本では、北海道を除いて、6月から7月にかけて、しとしとと雨の降る日が続きます。この時期を梅雨と言います。

梅雨の時期は気温が高く、湿度も高いので、とても蒸し暑く感じます。ですから、日本に住んでいる外国人は、たいてい「梅雨は苦手だ。」と言います。涼しくて乾燥した土地に育った人たちは、特に「蒸し暑くてたまらない。」と言います。

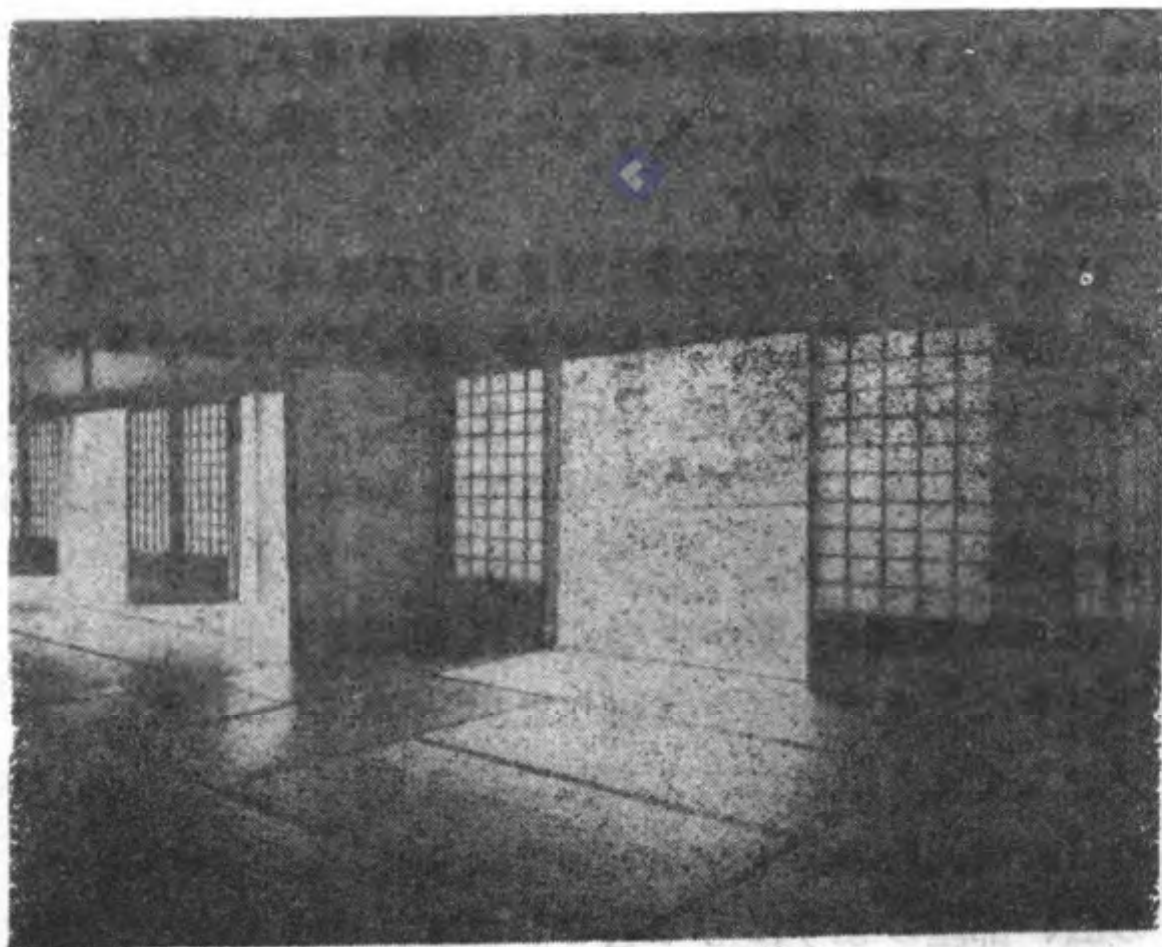
日本人は、昔から梅雨に悩まされてきました。そして、蒸し暑い気候の時でも快適に暮らすことができるように、いろいろな工夫をしてきました。

その工夫がいちばんよく現れているのは、日本の伝統的な家屋でしょう。

日本の家屋は、壁が少なく、自由に取り外しができる障子やふすまで部屋を区切ります。寒い冬の日には、障子やふすまを閉めたままで過ごします。けれど、暑い夏の日には、この障子やふすまを取り外し、家全体を一つの広い部屋のようにして過ごします。そうすると、風がよく通って、とても涼しいのです。

第5课

家屋の素材にも工夫があります。日本の家屋には、木や竹や紙など、植物性の素材が多く使われています。障子やふすまは、木と紙でできていますし、床に敷く畳も、わらといぐさを編んだものです。植物性の素材は、湿気を吸い取るので、湿度の高い風土に適しているのです。時代が変わるにしたがって、家屋の作り方も変わってきました。最近では、日本でも欧米風の建築が多くなりました。しかし、日本の風土を考えると、伝統的な家屋から学ぶことも多いと思います。



日本の家屋

第5课

(2)

山田. やあ, 張君。いらっしゃい。この雨じゃ, たいへんだっただろう。濡れなかったかい。

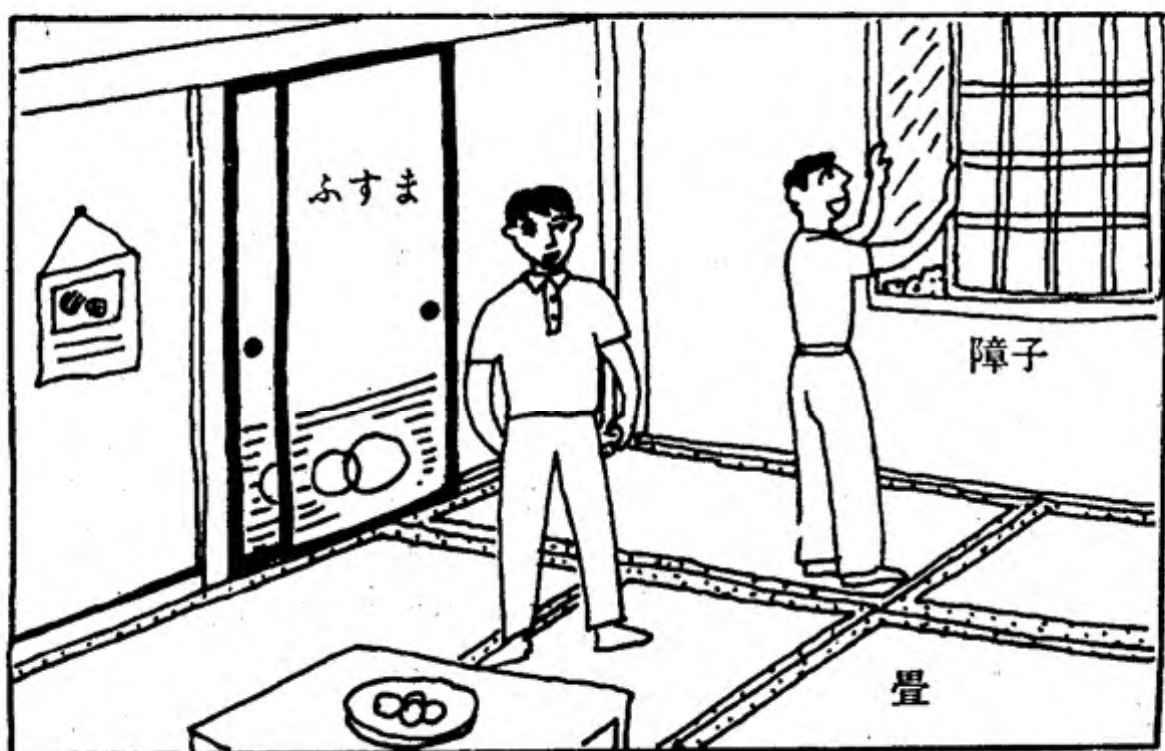
張 : うん, だいじょうぶだよ。そんなに強い雨じゃなかったから。ただ蒸し暑くて, 汗をかいたよ。

山田: まあ, そんな所にいないで, 上がれよ。こっちへどうぞ。

張 : おっ, 畳の部屋だね。これが障子で, これがふすま

山田: よく知ってるね。ちょっと暑いから, 障子を開けてみよう。風がよく通るよ。

張 : ほんとに涼しい風が入ってくるね。自然の風は, 気持ちがいいなあ。



第6課 七夕



7月7日は七夕です。七夕の行事は、8世紀ごろに中国から日本へ伝えられました。日本では、この日、子供たちが紙に願いごとを書いて、竹につるします。

ところで、中国には、七夕にまつわるこんな古い話があります。

昔、ある所に、貧しい牛飼いの若者がおりました。若者は、兄の家で暮らしていましたが、ある日、家から追い出されてしまいました。

若者は、牛といっしょに暮らし始めました。そして、毎日とても丁寧に牛の世話をしてやりました。

ある時、牛がこう言いました。

「明日、湖で天女たちが水浴びをします。天女の服が置いてあるから、赤い服を持って隠れていなさい。その服の持ち主が、あなたのお嫁さんになる人です。」

第6課

次の日、若者が湖へ行ってみると、牛が言ったとおり、天女たちが水浴びをしていました。若者は、言われたとおり、赤い服を持って隠れていました。

しばらくすると、天女たちが湖から上がってきました。一人の天女が、服がなくて困っていました。その時、「あなたの服なら、ここにあります。」

と言って、若者が姿を現しました。

その天女の名前は、織姫と言いました。織姫は、天の神様の孫でした。

二人は、すぐに仲良くなりました。若者は織姫に、「人間の世界に残って、わたしと結婚してください。」と言いました。

二人は、結婚して幸せに暮らし始めました。毎日が楽しくてなりませんでした。かわいい男の子と女の子も生まれました。

ある日、牛が若者に言いました。

「わたしが死んだら、わたしの皮をとっておきなさい。そして、困ったことがあったら、その皮を体にかけてください。」そう言い残して、牛は死んでしまいました。

そのころ、天の国では、神様が織姫を探していました。織姫が人間の世界から帰って来ないので、神様はとても怒っていたのです。そして、二人がいっしょに暮らしているのを知って、連れ戻しに来ました。

神様は、織姫を連れて、天に昇っていきました。その

第6課

時、若者は、牛が言ったことを思い出して、牛の皮を自分の肩にかけました。皮を着たとたんに、若者の体は、天に舞い上がりました。

若者は、一生懸命追いかけてました。そして、もう少しで追いつきそうになりました。けれども、神様が大きく腕を振ると、若者の目の前に、大きな天の川が現れました。若者と織姫は、天の川を挟んで、離れ離れになってしまったのです。

織姫は、悲しくて悲しくて、毎日泣いてばかりいました。そして、毎日若者に会いたがっていました。神様は、そんな織姫の姿を見ると、かわいそうでなりません。そこで、年に1回、7月7日だけ、二人が会うことを許してやりました。

7月7日になると、たくさんのかささぎが天の川に橋をかけます。この橋の上で、若者と織姫は1年に1回だけ会うことができるのです。そのために、この日だけは、人間の世界からかささぎがいなくなるということです。

第7課 地震の起こる日

(1)



関東大震災

大正12年（1923年）9月1日，関東地方を震度7の大地震が襲いました。この地震によって，関東地方は大きな被害を受け，10万人の人が死に，70万戸の家が壊れたり焼けたりしました。この地震は「関東大震災」と呼ばれ，その時の恐ろしさが今でも語り伝えられています。

ところで，9月1日という日付に注意してください。月の数と日の数を足すと， $9 + 1$ で10になります。このことから，物理学者の坪井忠二さんは，「10になる日は大地震が多い。」と，ある新聞のコラムに書きました。記録を調べてみると，12月7日，11月26日などにも大地

第7課

震が起こっているそうです。1 + 2 + 7, 1 + 1 + 2 + 6, というふうに、それぞれの数を足すと、不思議なことに答えはどれも10になります。

地震と日付の間に何か関係があるのでしょうか。

実は、この話にはちょっとしたしかけがあるのです。坪井さんは、こんな種明かしをしています。

月の数と日の数を合計して、いちばん小さい数は2です。これは、1月1日(1 + 1), 10月10日(1 + 0 + 1 + 0)など、1年のうちに4日あります。反対に、いちばん大きい数は20で、9月29日(9 + 2 + 9)の1日しかありません。ほかの日付は、すべて2から20の間に収まります。

その中で、10になる日はとても多く、全部で36日もあります。ですから、10になる日に大地震が多いのは不思議でも何でもありません。なぜならば、その日が1年のうちでたいへん多いからです。

でも、もしこの種明かしがなければ、「10になる日は大地震が多い。」という話を聞いて、多く的人是、「確かにその通りだ。不思議だなあ。」とってしまうのではないのでしょうか。

「迷信というものは、こうして生まれるのかもしれない。」と、坪井さんは言っています。

第7課

(2)

王：あっ，地震よ。窓ガラスがガタガタ鳴ってるわ。

佐藤：ほんと。揺れてるわね。でも，大きな地震じゃないわ。そんなに怖がらなくていいわ。震度2くらいかしら。ほら，もう終わったようよ。

王：ああ，びっくりした。佐藤さんはよく平気でいられるわね。

佐藤：地震には慣れているからよ。東京では，今くらいの地震はしょっちゅうあるわ。でも，たまには驚くほど大きな地震もあるのよ。

王：佐藤さんが驚くくらいなら，私なんか腰を抜かしてしまうわ。そんな地震が来たらどうしよう。

佐藤：だいじょうぶよ。最近の建物は頑丈だから。それに，大きな地震のときは慌てて外へ飛び出さないほうがいいのよ。腰を抜かしているほうがかえって安全かもしれないわ。

第8課

第8課 数字をめぐって

純子：ねえ。張さんは算数が得意でしょう。この問題、難しくて解けないの。教えてくれない。

1個88円のガラスのコップがある。これを運ぶと1個につき9円もらえる。でも、運ぶ途中で品物を壊すと、壊した分の運び賃がもらえないばかりか、壊した品物の代金も支払わなければならない。1000個運んで、7642円もらったとする。いったい何個壊れただろうか。

張：ほう、かなり複雑な問題だね。純子ちゃんは、どうしたらこの答えが出ると思う。

純子：まず、壊さないで全部運んだとしたら、いくらもらえるか考えて、次に、その金額と実際にもらった金額との差がいくらあるか、考えればいいと思うの。すると、こうなるでしょう。

$$9 \text{ 円} \times 1000 = 9000 \text{ 円}$$

$$9000 \text{ 円} - 7642 \text{ 円} = 1358 \text{ 円}$$

張：うん。何個か壊したから、1358円もらえなかったんだね。

第8課

純子：だから，1358円をコップ1個の値段で割ればいいと思うんだけど，割り切れないのよ。どうしてかしら。いくら考えてもわからないの。

張：なるほど。純子ちゃんは，ちょっと勘違いしてるみたいだね。1個壊したら，88円の損で済むかどうか，もう一度考えてごらん。

純子：あ，そうか。1個壊したら，88円弁償しなければならぬけど，そのうえ，9円の運び賃ももらえないから……。こう計算すればいいのね。

$$88\text{円} + 9\text{円} = 97\text{円}$$

$$1358\text{円} \div 97\text{円} = 14\text{個}$$

純子：答えは14個ね。

張：そうだよ。よし，今度はぼくが問題を出そう。

ジュースの空き瓶を7本集めると，その空き瓶と引き替えに，ジュースを1本もらえるとする。では49本の空き瓶を集めると，何本のジュースがもらえるだろうか。

純子：これは簡単よ。7本集めると1本もらえるんだから，49を7で割ればいいんでしょう。答えは7本だわ。

張：残念でした。答えは8本。

純子：えっ，どうして。7本でいいはずよ。

第8课

張：もちろん、最初の49本の空き瓶からは、7本のジュースがもらえるよ。でも、その7本の空き瓶を集めたら、もう1本ジュースがもらえるじゃないか。だから「 $7 + 1 = 8$ 」で、答えは8本になるのさ。

純子：あっ，そうか。でも，そんなのずるいわ。

張：ははは。ずるいと言えば，ずるいかもしれないけど，こんな問題もおもしろいだろう。



第9課

第9課 夏休みの旅行計画

(1)

交換手：はい。東京旅行でございます。

王：もしもし。私，王と申しますが，営業部の田中さんをお願いします。

交換手：はい。少々お待ちください。

田中：もしもし。田中です。

王：田中さんですか。王です。こんにちは。

田中：こんにちは。会社の方に電話をくださるなんて，珍しいですね。

王：はい。実は，夏休みの旅行のことで，田中さんに御相談したいと思ひまして。これから，会社に伺ってよろしいでしょうか。

田中：そうですか。旅行のことなら，会社にいろいろな旅行案内のパンフレットがありますから，ぜひ来てください。何時ごろになりますか。

王：2時ごろ，伺いたいと思います。

田中：わかりました。じゃあ，時間を空けておきましょう。会社の場所はわかりますか。

王：ええ。だいたいわかります。東京駅の西口を出て，右の方へ行くんですよ。

第9課

田 中：そうです。そして、最初の信号を左に曲がって、右側の3つ目のビルです。

王：そうでしたね。じゃあ、友人の佐藤さんと2人で伺いますので、よろしくお願いします。

(2)

日本人は働きすぎだ、という批判が高まってきたためか、最近では、日本の会社も、1週間とか10日とか長い期間の休みを設けるようになった。その休みを利用して、都会を脱出し、海や山へ遊びに行く人や、海外旅行をする人が年々増えつつある。

また、8月の中旬は旧暦のお盆に当たるので、先祖の墓参りをするために、故郷へ帰る人がたくさんいる。ふだん離れ離れになっている家族や親戚が再会できることも、お盆の大きな楽しみになっているようだ。「民族大移動」などと言われるほど、お盆の前後には、多くの人がいっせいに帰省する。そして、またいっせいに都会へ戻ってくる。

このように、夏は旅行する人が多いため、列車がたいへん混雑するし、道路も渋滞する。旅館やホテルなども、早めに予約しておかないと、利用することができない。だから、旅行を楽しむためには、計画を立て、前もって、乗物や宿泊施設の手配をしておくことが必要である。

第10課 上野駅で

(1)

日本には、東京の言葉を土台にした共通語があり、全国どこにでも通用する言葉として、広く使われています。けれども、一方で、それぞれの地方には、その地方独特の言葉があります。その言葉を方言と言います。

方言は、その土地の風土や暮らしと深いつながりがあり、その土地その土地の味わいがあります。そして、自分が生まれ育った土地の方言には、だれもが強い愛着を持っています。

ふるさとのなまりなつかし
停車場の人ごみの中に
そを聞きに行く

これは、石川啄木の短歌です。「ふるさとの方言が懐かしくてたまらない。わたしは、その方言が聞きたくて、停車場の人ごみの中にわざわざ出かけて行くのだ。」という意味です。故郷の岩手県を離れ、東京で暮らしていた啄木は、ふるさとの言葉に特別の懐かしさを感じたのでしょう。

第10课

ところで、この短歌で歌われている「停車場」とは、上野駅のことだと言われています。上野駅は、東京の中心にあり、昔から東京の北の玄関と言われていました。東北地方や上越地方から東京へ出てくる人や、逆に帰っていく人が、おおぜい乗り降りする駅でした。ですから、そこへ行けば、啄木は生まれ故郷の言葉を聞くことができたのです。

現在も、上野駅の人ごみの中からは、相変わらずふるさとの言葉で楽しそうに話し合う声が聞こえてきます。啄木のように、ふるさとの言葉が懐かしくて、上野駅にそれを聞きに行く人が、今もいるかもしれません。



上野駅

(2)

王：ずいぶん混んでいるわね。指定席の切符を取っておいてよかったわ。みんな、青森のねぶた祭りに行くのかしら。

佐藤：ふるさとに帰る人も、多いんじゃないかしら。楽しそうに方言で話してる人が、いっぱいいるから。

王：方言と言えは、中国ほどではないけれど、日本にも、土地によって言葉の違いがあるわね。関東では「ありがとう。」と言うのを、関西では「おおきに。」と言うんでしょう。

佐藤：ええ、どこに行っても、その土地の方言があるわ。

王：青森にも方言があるんでしょう。

佐藤：ええ。こんな会話があるそうよ。「どさ。」「ゆさ。」
ねえ、わかる。この言葉の意味。

王：「どさ。」「ゆさ。」わからないわ。教えて。

佐藤：「どさ。」は「どこへ行くの。」っていう意味。「ゆさ。」は「お湯へ行く。」、つまり「お風呂に入りに行く。」っていう意味なの。青森は寒い地方だから、あまり外で長い話をしないんですって。だから、あいさつも短く縮めて言うらしいの。

第10课

王：へえ，そう。方言って，やっぱりその土地の風土
や暮らし方と関係が深いのね。寒いと言葉も短く
なるなんて。

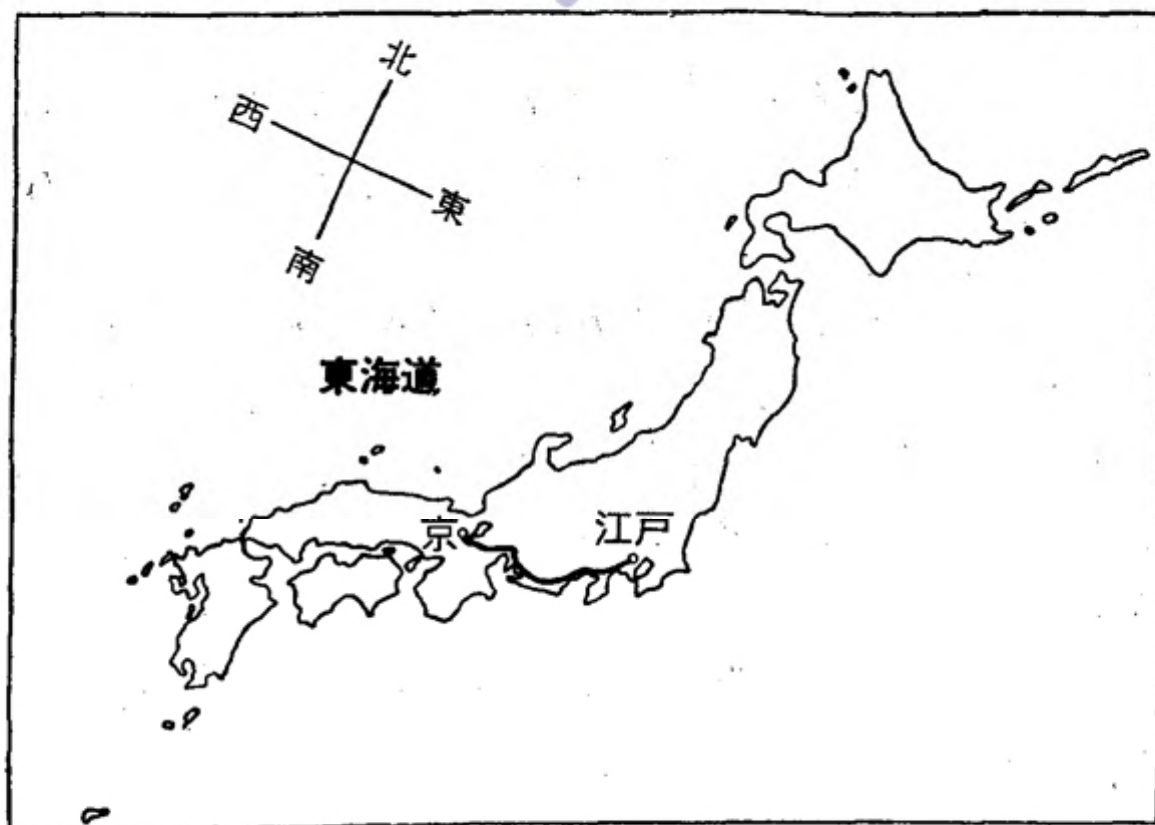


第11課 旅と交通

(1)

昔、鉄道や自動車のような交通手段がなかった時代には、どこへ行くのにも、自分の足で歩くしかなかった。旅をするのにも、昔の人は、何日も歩き続けるしかなかった。

江戸時代（1603年～1867年）になって、江戸（現在の東京）と日本の各地を結ぶ街道が整備され、多くの人が、街道を歩いて旅をするようになった。江戸と京（現



第11課

在の京都)を結ぶ東海道は、特に交通量が多く、街道沿いの町はたいへんにぎわった。

江戸と京の距離はおよそ500キロだが、当時の人たちは、12日から15日くらいかけて、東海道を歩いたらしい。人間が1日に歩ける距離は、大人の男性で40キロぐらい。だから、毎日歩き続けたとしても、そのくらいの日数はどうしても必要だっただろう。

現在、東京と京都の間には、東海道新幹線が走っている。時速200キロ以上のスピードを誇る新幹線を利用すれば、東京を出発して、3時間もしないうちに、京都に到着する。昔は10日以上かかった場所まで、わずか3時間足らずで行けるのだから、便利になったものだと思うずにはいられない。

現代では、仕事のために新幹線を使って、東京から京都や大阪へ日帰りで出張することなど、日常茶飯事になっている。

しかし、それほど便利な新幹線だが、「新幹線を使って旅行をしてもおもしろくない。」という人もいる。あまり速すぎて、旅の情緒が味わえないと言うのだ。そして、わざわざ各駅停車の列車に乗って行く人もいるそうだ。

でも、こんな話を昔の人が聞いたら、きっと「ぜいたくなことを言うものだ。」と思うだろう。

第11課

(2)

田中：張さん，旅行の計画はできましたか。

張：ええ。山田君と，京都へ行くことにしました。来週の水曜日に，たつつもりです。

田中：旅館や新幹線の予約は済みましたか。

張：はい。旅館はもう予約しました。でも，新幹線のほうは，指定席ではなくて，自由席で行くことにしたんです。乗車券と特急券だけ買っておきました。東京発10時の「ひかり号」に乗るつもりです。

田中：ちょっと時刻表で確かめてみましょう。ああ，「ひかり5号」ですね。京都に着くのが，12時40分。早いですね。どうぞ，気をつけて。行ってらっしゃい。

張：はい，ありがとうございます。みやげ話を待っていてくださいね。

第12課 京都からの手紙

(1)

田中健一様

拝啓

先日は、たいへんお世話になりました。私は今、山田君といっしょに京都に来ています。

京都は、古いお寺や町並みが残っている、すてきな町です。実際に京都に来てみて、この町がとても気に入りました。京都の町は、中国の西安をまねて、作られたんだそうですね。その話を聞いて、いっそう京都に親しみを感しました。

それにしても、こちらの暑さは予想以上でした。京都は盆地なので、夏は暑いと聞いていましたが、本当にうだるような暑さです。でも、今日はその暑さのなか、清水寺、龍安寺、円山公園などの名所を見て歩きました。

有名な清水寺の舞台にも上がってみました。日本では何か思い切ったことをする時、「清水の舞台から飛び降りるつもりで…」と言うことがあるそうですね。中国ならば、「西安の大雁塔から飛び降りるつもりで…」ということになるのでしょうか。

京都の夏の行事として有名な「大文字焼き」も、見物することができました。暗闇の中で、山の中腹に火がともったかと思うと、たちまち赤々と燃え上がり、「大」という字を作りました。その光景は、たいへん幻想的で、美しいものでした。この「大文字焼き」の行事が終わると、京都の夏は、終わりだと言われているそうですね。

そう言えば、夏休みも残りわずか。私たちも、あさっては東京に戻り、9月からの勉強の準備に取りかかるつもりです。

田中さんにいろいろと教えていただいたおかげで、とても楽しい旅ができました。ありがとうございました。お礼のしるしに、別便で京都名物のお菓子をお送りしましたので、どうぞ召し上がってください。

まだまだ厳しい残暑が続くことと存じます。くれぐれもお体をお大切に。

敬具

8月17日

張建国

第12课

(2)

山田：張君，手紙はもう書き終わったの。

張：うん。ちょうど今，書き終わったところだよ。

山田：田中さんにどんなことを書いたの。

張：いろんなことさ。清水寺のこととか，大文字焼きのこととか。それにしても，今夜は大文字焼きを見物することができて，よかったね。なにしろ，1年のうちで今日しか見られないんだから。

山田：うん，そうだね。でも，火が消えていくのを見ていたら，ちょっぴり寂しくなってしまったよ。もう夏は終わりなんだなあ，と思って。

張：ねえ，山田君。あしたは嵐山へ行ってみないか。嵐山には周恩来元首相の詩碑があるそうだから，ぜひ行ってみたいんだ。

山田：そうだね。せっかく京都に来たんだから，嵐山にも行ってみよう。

第13課

第13課 50億人目の赤ちゃん

(1)

1987年7月11日、ユーゴスラビアのザグレブ市で、50億人目の赤ちゃんが誕生した。マティちゃんという男の子だ。

国連は、人口統計から、この日を50億人目の赤ちゃん誕生の日と決め、その誕生を祝うことにした。デクエアル国連事務総長が、ザグレブ市の病院を訪れ、「マティちゃんと同世代の人々が、平和で暮らせますように。」と、お祝いの言葉を贈った。

世界の人口は、1920年代に20億人だったから、この半世紀余りで2倍半に増えたことになる。21世紀の初めには、さらに10億人増えて、60億人に達するらしい。

これほど急激に人口が増加したのは、医学が進歩して、人間の死亡率が大幅に減少したからだ。高度な医療技術のおかげで、幼児の死亡率が低くなり、人間の寿命は著しく伸びている。人類にとって、たいへんうれしいことだ。

しかし、喜んでばかりはいられない。「人口爆発」という言葉があるように、人口の急激な増加は、人類を脅かすものでもある。

第13課

例えば、食糧の問題だ。現在でも、地球上には飢えに苦しんでいる人たちが、たくさんいる。このまま人口が増え続けたら、食糧問題はますます深刻になるにちがいない。また、生活や産業の廃棄物が増えて、環境が汚染されることや、人間の数に比べて、石油や石炭などの資源が不足することも心配だ。

50億人目の赤ちゃんの誕生は、人類にとってうれしいニュースだが、同時に、厳しい時代の到来を告げるニュースでもある。マティちゃんと同世代の人々が、平和に暮らせることを願うとともに、私たちは、地球の未来について、いっそう真剣に考えなければならないのである。

(2)

王：日本人の平均寿命は、世界一長いんでしょう。女性の平均寿命は80歳以上になってるそうね。

佐藤：医学が発達したから、それだけ寿命が伸びたんでしょうね。それに、食べ物が豊かになって、栄養のバランスがよくなったこともあると思うわ。

王：人間の寿命が伸びると、人口がどんどん増えていくわね。そう言えば、地球の人口が、とうとう50億になったっていうニュースがあったわ。

佐藤：人口が増えるのは、うれしいと言え、うれしいことなんだけど、…。

第13课

王：そうね。このまま人口が増え続けたら、いったい
どうなるのかって、考えさせられるわ。

佐藤：本当ね。今に、地球は、人間でいっぱいになって
しまうかもしれないわね。

王：人が多すぎて、食糧が足りなくなるかもしれない
し、地球の資源だって限りがあるでしょう。深刻
な問題だと思うわ。



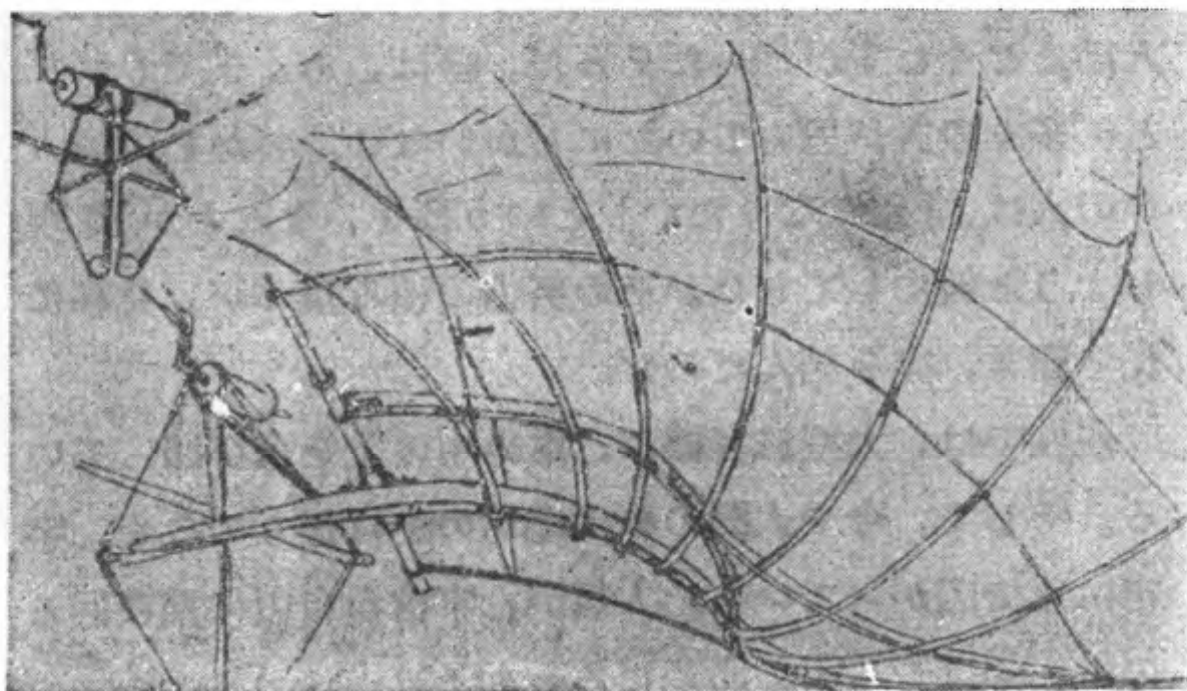
第14課

第14課 鳥になりたい

(1)

人間は昔から、「鳥のように自由に空を飛び回ることができたら、どんなに素晴らしいだろう。」と想像してきた。

ルネサンスの天才、レオナルド・ダ・ビンチも、「鳥のように空を飛びたい。」という夢を抱いていたようだ。彼は、今から500年も前に、鳥の解剖をしたり、鳥が飛ぶ時の動きをスケッチしたりして、鳥が空を飛べるわけを考えた。



レオナルド・ダ・ビンチのスケッチ

第14課

彼は、現代の連続写真でなければわからないような動きまで、正確にスケッチしていると言われる。そして、その研究をもとに、彼は飛行機の設計図を残している。

レオナルド・ダ・ビンチが考えた飛行機は実現しなかったが、その後、たくさんの人たちが、空を飛ぶ方法を研究した。気球に乗って空を飛ぶことを考えた人もいた。カモメやトンビが、翼を動かさずに飛ぶことから、グライダーを考え出した。そして、とうとう今世紀の初めになって、アメリカのライト兄弟が、エンジン付きの飛行機の実験に、成功したのである。

レオナルド・ダ・ビンチの時代には、人間が空を飛べるなどと考える人は、ほとんどいなかっただろう。ライト兄弟の成功を見るまでは、飛行機の実験に興味を示す人は、ごくわずかだったようだ。夢は、あくまでも夢だと、多くの人が思っていたにちがいない。しかし、何人かの人には、「鳥になりたい」という夢を、なんとか実現しようと努力してきた。その努力の積み重ねが、見事に花を開き、実を結んだのだ。

現在では、大型旅客機が、世界中の空を飛び回っている。そして、今や人間の夢は地球の上ばかりでなく、宇宙にまで広がっている。人類が、宇宙を自由に飛び回るのは、もはや時間の問題だろう。

第14课

(2)

王 : スミスさんは、子供のころ、何になりたいと思っていたんですか。

スミス: なりたいと思ったものは、いろいろありますが、いちばんなりたかったのは、飛行機のパイロットですね。

王 : まあ、そうですか。実は、わたしもステューデスに憧れたことがあるんですよ。子供のころは、みんな空に憧れるのかもしれませんがね。

スミス: ええ。だから、これからは宇宙飛行士になりたいって思う子供たちが、増えるんじゃないでしょうか。

王 : 宇宙旅行も、もう夢ではなくなりましたものね。宇宙飛行士になって、宇宙を飛び回りたいなんて夢は、いいですね。

スミス: そうですね。夢と言えば、ぼくの弟も、タイムマシンを作りたいなんて言ってますよ。

王 : まあ、おもしろい。できるといいですね。

スミス: だけど、タイムマシンを作るという人間にしては、理数系の勉強が嫌いで、その代わり、毎日SF小説ばかり読んでるんです。

王 : SFを読みながら、タイムマシンの研究をするなんて、おもしろくていいじゃありませんか。

第15課 小さいものへの愛着

(1)

昔、中国からの使節が日本に来て、瀬戸内海を船で渡っている時、こう言ったそうだ。

「日本にもずいぶん広い川がありますね。これは何という川ですか。」

黄河や揚子江など、広大な川を見慣れた中国の人が、瀬戸内海を川だと思ったのも無理はないだろう。しかし、この言葉を聞いて、その場にいた日本人は、驚いたにちがいない。それほど中国の川は広大なのか、また、中国の自然と比べて、日本の自然はそれほど小さいものなのか、と思ったことだろう。

中国の人だけではない。あるアメリカ人は日本の川を見て、「これは川ではない。滝だ。」と言ったそうだ。日本の川は幅が狭く、流れの急な所が多いので、そんな感想を抱いたらしい。

確かに、中国やアメリカに比べると、日本の山や川は小さい。だから、中国人やアメリカ人の目には、日本の自然が、まるで箱庭のように見えるのかもしれない。

箱庭と言えば、日本には盆栽という園芸があり、多くの愛好家がいる。これは、松や梅などを鉢に植え、小さ

第15課

く形を整えて鑑賞するものだ。盆栽は、もともと中国から伝わったが、日本で独特の発達を遂げたと言われている。ただでさえ小さい自然を、さらに小さくするのだから、日本人は、よほど小さいものに対する愛着が強い民族なのだろう。

同じ傾向は、産業や技術においても見ることができる。日本の工業製品で評価されているものと言えば、何と言っても、カメラや時計などの小型の精密機械だ。また、最近では、コンピュータに使う超小型の集積回路を開発する分野で、日本の技術は目覚ましい進歩を遂げている。つまり、小型で精密な製品を作ることにかけて、日本人は、特に才能を発揮してきたわけである。

盆栽から先端技術にいたるまで、日本人の「小さいものへの愛着」が感じられるのである。

(2)

スミス：張さん。何を読んでるんですか。

張：「小さいものへの愛着」という記事なんです。
おもしろいですよ。

スミス：へえ。ぼくにもちょっと読ませてくれませんか。ははは。アメリカ人は、日本の川は川じゃなくて、滝だと言ったんですか。

張：そうらしいですね。つまり、日本人は、それほ

第15课

ど小さい自然の中で暮らしているというんですね。そのせいで、小さいものへの愛着が強く、それが、産業や技術にも現れているというんです。スミスさんはどう思いますか。

スミス：日本人が何でも小さいものが好きなわけではないでしょうが、確かに日本人は、小さいものを作ったり、大きいものを小さくしたりするのが、得意ですね。

張：そうですね。ちょっと逆説のようになるかもしれませんが、小さいものを作って、大きい経済力をつけたというのは、おもしろい見方じゃありませんか。

スミス：なるほど。それはおもしろい見方ですね。

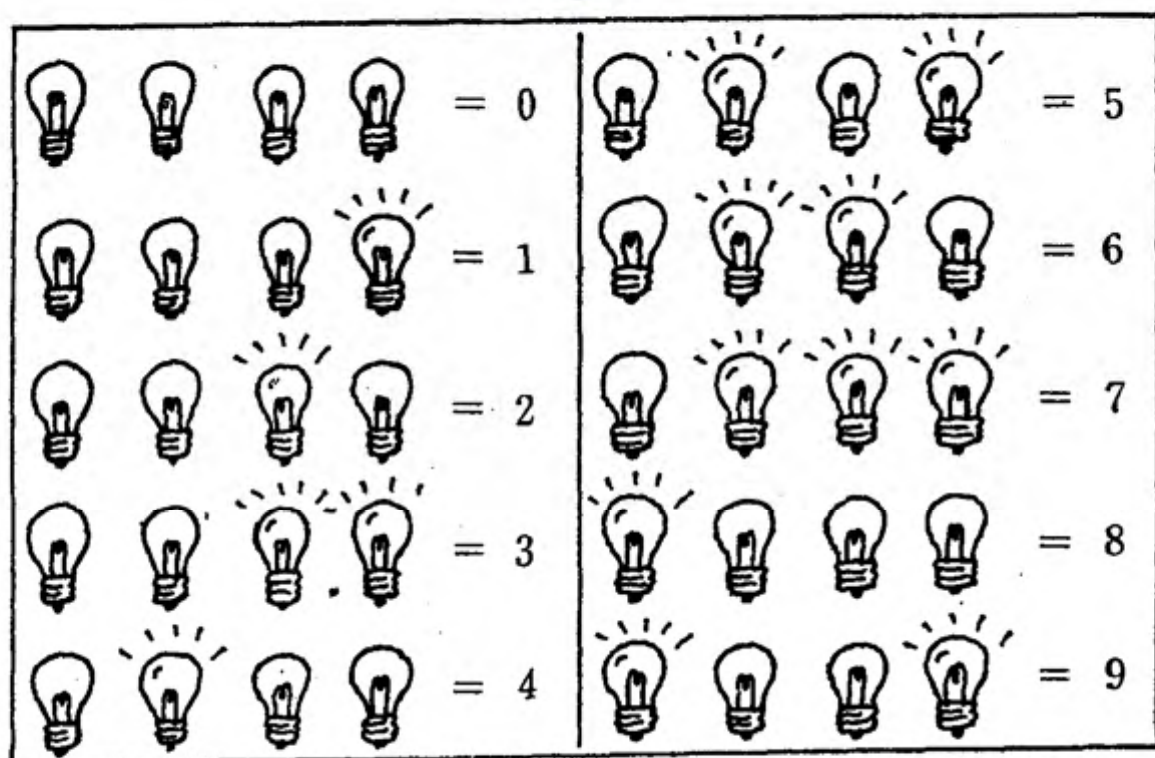
第16課

第16課 コンピュータの発達

コンピュータとは、電子回路によって数値の計算をする機械のことである。

コンピュータの中では、数字はすべて二進法で表される。これは、数字を電気の信号に変えるためである。と言うのは、二進法ならば、すべての数字は0と1の2種類になり、電気の信号があるかないかの違いで、表すことができるからである。

わたしたちがふだん使っている十進法の0から9を例にとってみよう。



第16課

図のように、コンピュータは、それらを信号に置き換える。電球にたとえれば、いくつかの電球が、どのような組み合わせで点滅するか、ということで表すわけである。そして、計算する時は、瞬間的にこれらの電球のスイッチを入れたり切ったりして、信号を組み合わせ、答えを出すのである。

だから、簡単に言えば、コンピュータとは、電気の信号を点滅させるスイッチが集まったものだと言っている。と言っても、複雑な数字を記憶して、計算するとなると、何千何万という数のスイッチが必要になる。

最初、このスイッチの役目を果たしていたのは真空管だった。人類最初のコンピュータは、1945年に完成したが、それには約2万本の真空管が使われていた。しかし、2万本の真空管を使った機械は、あまりにも巨大であり、しかも、膨大な電力を必要とした。そうした事情から、真空管をスイッチとして使う限り、コンピュータの実用化は不可能だとされていた。

そこに現れたのが、半導体を利用したトランジスタである。

半導体は、金属のように電気を通しやすい物と、ガラスのように電気を通しにくい物との、中間の性質を持っている。ある条件を与えれば、電気を通し、別の条件を与えれば、電気を通さないという性質がある。だから、スイッチとしての役目を果たすことができるのである。

第16課

トランジスタは、小型で電力の消費量も少ない。真空管とは比べものにならないほど、多くの長所を持っていた。だから、トランジスタが実用化されるやいなや、たちまち真空管に取って代わり、コンピュータ技術の飛躍的な進歩を促した。

その後、トランジスタは改良され、たくさんのトランジスタの機能を盛り込んだ集積回路（IC）や、大規模集積回路（LSI）が開発された。

こうした技術革新によって、最初は2万本もの真空管を使った巨大な機械が、今では、たった一つのLSIで作られるようになり、てのひらに載るほど小さくなったのである。



第17課 天気予報

(1)

江戸時代にも天気予報があって、幕府の役人が、翌日の天気を予報していたそう。気象観測の技術など、ほとんどなかった時代のことだから、当然、正確な予報はできない。それなのに、予報が外れると、担当の役人は厳しく責任を追及された。

そこで、役人は責任を逃れるために、毎日、「明日は雨が降る天気ではない。」という予報を出していたそう。この予報は、「雨が降る」を「天気」に係る言葉だと考えれば、「明日は雨が降らない。」という意味になる。ところが、「明日は雨が降る、天気ではない。」と途中で文を区切れば、逆に、「明日は雨が降る。」という意味になる。句読点がなければ、どちらにも読み取れる文なのである。したがって、翌日がどんな天気になっても、「雨が降る天気ではない。」と予報しておけば、絶対に外れる心配はないというわけである。

これなら、確かに責任を追及されずに済む。うまいことを考えたものだと思うが、これはたぶん作り話だろう。

第17課

現代では、もちろんこんないいかげんな予報は考えられない。それでも以前は、天気予報と言え、当たらないものの代表のように言われていたものだ。「天気予報を信じたばかりにひどい目に遭った。」という苦情が、気象庁に殺到することもあった。あまり予報が外れるので、「江戸時代のほうがよかった。」と思う予報官もいたことだろう。

しかし、最近、天気予報についての苦情はそれほど聞かれなくなった。気象観測の技術が発達して、予報が正確になったからである。レーダーで、雲の動きを正確にとらえることができるようになったし、地域の気象を自動的に観測する施設も、全国に整備された。

そして、それらが観測した情報を、コンピュータで分析して、即座に気象の変化を予報できるようになった。さらに、気象衛星によって、レーダーでとらえられない広い範囲の気象も把握できるようになり、天気予報の精度は、ますます高くなった。

自然が相手だから、100%的中させるわけにはいれないが、江戸時代の役人には想像もできない進歩であることは、間違いない。

(2)

アナウンサー：天気予報をお知らせいたします。今日の東京地方は、北西の風。晴れのち雨。

午前9時から午後3時までの間に、1ミリ以上の雨が降る確率は、90%です。台風17号の影響で、夕方から夜にかけて、風雨が強くなる見込みです。ご注意ください。

奥さん：あら、たいへん。あなた、夕方から雨がひどくなるらしいから、傘を持って行って。

田 中：え、雨が降るって。でも、こんなにいい天気だよ。雨なんか降りそうにないけどなあ。

奥さん：だって、今、テレビの天気予報で言ってたのよ。台風の影響で、強い雨が降るんですって。

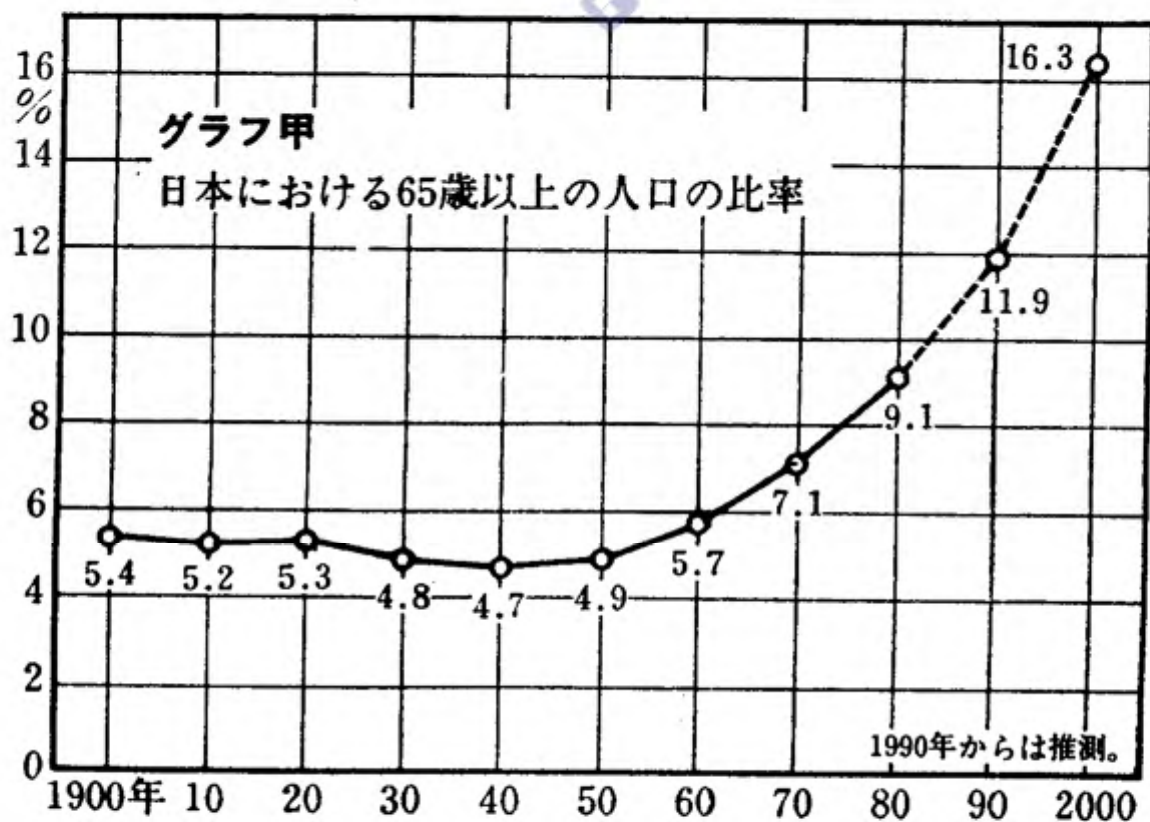
田 中：ふうん、そうか。最近の天気予報は当たるからな。じゃあ、傘を持って行くことにしよう。

第18課

第18課 高齢化社会

中国では、1982年の第3回国勢調査の時点で、65歳以上の高齢者の人口が、5000万人余りに達し、総人口の約4.9%を占めた。

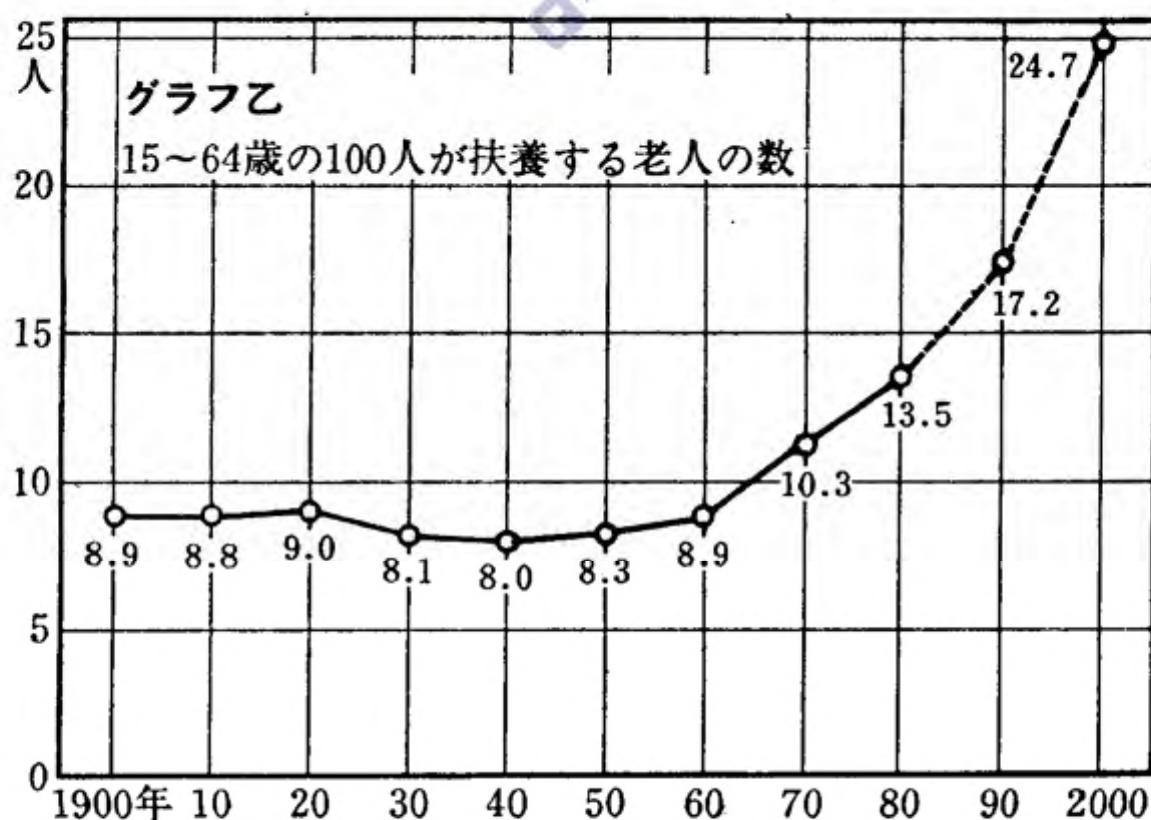
国連は、高齢者の人口の比率が7%を超える国を「老年人口型の国」と規定している。だから、中国の社会は、まだ高齢化しているとは言えない。しかし、2000年になると、その比率が総人口の7.4%に当たる9300万人となり、高齢化社会の仲間入りをすることになる。



グラフ甲は、日本における、総人口に対する高齢者人口の比率の移り変わりを、示したものである。日本では、すでに1970年の時点で、高齢者の比率が7%を超えた。2000年には、16.3%にまで達すると推測されている。

高齢化社会において、問題になるのは、多くの老人をどのように扶養していくか、ということである。老人の増加にともなって、年金や医療費の額は急激に増えている。そして、そうした社会保障の費用を賄うために、国民の税金の負担もしだいに重くなっている。

グラフ乙は、15歳から64歳までの人100人が、扶養しなければならない老人の数を表したものである。1970年



第18課

には、100人で約10人の老人を養っていたのが、2000年には、約24人を養うことになる。

社会保障の充実を望む以上、それだけ国民一人当たりの負担も重くなるのを、覚悟しなければならない。

財政の面だけでなく、だれが老人を扶養するかということも、大きな問題である。高齢者の人口が増えるとともに、老夫婦のみの世帯や、老人の一人だけの世帯が増えている。このような老人たちは、「自分の体が弱って、動けなくなった時、いったいだれの世話になったらいいのか。」と、不安を訴えている。家庭で、子が親を扶養できればよいのだが、さまざまな事情から扶養できない場合もある。「仕事の都合で、どうしても親と別居せざるを得ない。」という人もずいぶんいるようだ。これは、親孝行を奨励するだけでは済まない社会問題である。

また、仕事を持たない老人は、自分が社会に必要な人間だという自覚を持ちにくい。とかく、自分の生きがいを見失いがちだ。長年仕事に励んで、今日の社会を作った老人たちが、寂しい思いをするのは、とても残念なことだ。老人が、生きがいを持てるような社会を作ることとは、高齢化社会の大きな課題だと言える。

今後、高齢化が進むとともに、ほかにもさまざまな問題が起こってくるだろう。そして、高齢化社会にどう対応するかということは、日本だけでなく、世界中の国にとって、大きな課題になってくるにちがいない。

第19課 新聞の投書から

(1)

日本では、中学校や高校の多くが、制服を採用している。男の生徒は学生服、女の生徒はセーラー服、というのが一般的だ。しかし、最近は、制服のない学校もあるようだ。学校に制服が必要かどうかは、意見の分かれるところだろう。ある新聞の投書欄で、制服が必要かどうかをめぐって、こんな意見のやりとりがあった。

(2)

先日、高校生の娘が、学校の制服について不満を漏らしていた。制服などないほうが、自由でいいと言うのである。

話を聞いてみると、制服をやめようという意見が、生徒の間にあるらしい。しかし、制服廃止を唱える前に、制服の長所を見直してほしい、というのが私の考えである。

まず、制服ほど、学生にとって便利な服装はない。通学する時はもちろんだが、制服なら、どこへでも着ていける。普段着にもなるし、外出着にもなるのだから、これほど便利で、しかも経済的な服装はないだろう。

第19课

逆に、もし制服がなくなったらどうだろうか。生徒たちは、どんな服を着て通学すればいいか、毎日悩むのではないだろうか。学校の中で、互いにおしゃれを競い合うことにもなりかねない。

また、制服が生徒の心に与える影響も、無視できない。制服を着ていれば、自分がその学校の生徒だ、という自覚を持つようになる。自分の行動に対する責任感も生まれるだろうし、勉強しようという意欲も湧いてくるはずである。

若い娘たちが、制服をいやがる気持ちもわかる。しかし、いくら時代が変わっても、高校生には、制服がいちばんふさわしいと思う。

(A 高校生の父親 50歳)

(3)

先日の投書欄で、Aさんの意見を読み、ひとこと言わせていただきたいと思って、ペンを取りました。

Aさんは、制服がなくなったら、生徒たちがおしゃれを競い合うのではないかと心配しています。けれども、決してそんなことはありません。実際、私が卒業した高校には、制服がありませんでしたが、おしゃれの競争などは、起こりませんでした。おしゃれをするにしても、流行を追って、派手な洋服を着るのではなく、自分の個

第19課

性に合った、高校生らしい服装を工夫していました。

また、Aさんは、制服は生徒の心によい影響を与える、とおっしゃっていますが、本当にそうでしょうか。

制服のある高校に通っていた私の友人の中には、制服によって、自分の立場を自覚させるような考え方に、反発を感じると言う人もいました。ですから、必ずしも、制服が生徒の心によい影響ばかり与えるとは言えないでしょう。

それに、服装によって心が左右されるようでは、それこそ困るのではないのでしょうか。服装などに動かされない、主体性のある人間になることこそ、大切だと思います。

現代では、個性の豊かな人間になることが、望まれています。一人一人の個性が大切な時代であるにもかかわらず、なぜ、制服にこだわるのでしょうか。自分の個性に合った服装を工夫することのほうが、はるかに、大事だと思います。

(S 大学生 19歳)

第20課 日本語と漢字

(1)

日本は、これまで中国から、さまざまな恩恵を受けてきた。とりわけ、漢字という文字を学んだのは、日本人にとって画期的なことであった。漢字の伝来によって、日本人は、ようやく自分たちの言葉を、文字に書き表すことができるようになったのである。

最初、漢字が伝わってきたばかりのころは、すべての言葉を漢字で書き表していた。しかし、その後、漢字をもとにして、かなが作り出された。漢字を崩して書く書き方から、ひらがなが作られると同時に、漢字の一部を取って、かたかなが作られた。そして、それ以来、漢字とかなという2種類の文字を使う書き表し方が、定着したのである。

近代になって、日本が、西洋文明を取り入れようとした時にも、漢字は大きな役割を果たした。

明治時代、日本人は、政治・経済・科学など各方面にわたって、西洋の言葉を、日本語に訳すことを試みた。そして、漢字と漢字を結び付けたり、従来からあった漢語を活用したりして、訳語を作った。漢字は、一字一字

第20課

が意味を表す文字なので、外国語の意味が、自然にわかるような訳語を作ることができたのである。

「金属」「物質」などの、自然科学に関する言葉、「議員」「裁判所」などの、政治に関する言葉、これらは、みんな西洋の言葉の翻訳によってできたものである。これらの新しい言葉によって、日本人は、特別に西洋の言葉の知識がなくても、必要な言葉を理解して、使うことができるようになった。

なお、この時に作られた漢語の中には、漢字の故郷である中国が、逆に輸入して使っているものもある。

日本人が、近代において、西洋の文明をきわめて短い期間に取り入れることができたのは、まさに漢字のおかげだと言っても、言いすぎではない。

(2)

王：先生、ちょっと教えていただけないでしょうか。

この文なんですが……。

鈴木：「このデパートは、いろいろなPRの方法を工夫している。」と書いてありますね。

王：ええ。この文には、4種類の文字が使われているでしょう。

鈴木：なるほど。漢字とひらがなのほかに、「デパート」というかたかな、「PR」というアルファベット

第20课

まで、使われていますね。

王：はい。先生にお聞きしたいのは、日本語では、どうしてこんなに複雑な文字の使い方をするのか、ということなんです。こんな複雑な使い方、しなくてもいいと思うんですよ。

鈴木：それは難しい質問ですね。日本人は、昔から、漢字とかなの長所を生かして、使い分けてきたんです。現代では、漢字とひらがなを混ぜて使うのが、原則ですよ。

王：でも、町で見る広告には、ずいぶんかたかなやアルファベットが多いような気がするんですが。

鈴木：それだけ、外国の言葉が入ってきているんです。いちいち翻訳していたら、新しい思想や技術を取り入れるのに、間に合わないからでしょう。

王：かたかなやアルファベットの長所も、生かしているわけですね。

鈴木：ええ。でも、この文は、こう書き直すことができますよ。「この百貨店は、いろいろな宣伝の方法を工夫している。」

王：それなら、漢字とひらがなの2種類ですね。

鈴木：ええ。「百貨店」という言葉は、古い感じがするかもしれませんが。でも、私には漢字を使った文のほうが、親しみやすいですね。

王：私も、こちらのほうが、ずっとわかりやすいで

第20课

す。

鈴木:「デパート」や「PR」などは、耳慣れた言葉ですが、最近は、必要以上にかたかなやアルファベットが氾濫していますね。なかには、かたかなやアルファベットで表現したほうが、すてきだと思っている人もいます。でも、私は、長年使い慣れた漢字を、大切にすべきだと思いますよ。



课文译文

课文译文

第1课 你好

(1)

你好，我姓王，是去年6月作为留学生来到日本的。

起初由于语言和生活习惯不同，老是出差错。然而最近我已经基本习惯这里的生活了。上大学期间还结识了可以无话不谈的朋友。

铃木先生是我所在大学的老师。他是搞语言学的，教我们留学生日语。我在日语方面有不懂的问题去问他，他总是认真地教给我。学习以外的各种事，他也乐于帮我斟酌。

老师说他对现代中国很感兴趣，时常询问中国的情况。遇到这种时候，我就高兴地把中国的事情讲给他听。

今后，我想就自己希望了解和感兴趣的问题多读些书，多学习。日本的自然、社会、历史、文化，还有科学技术等，想知道的东西太多了。我还想读日文的小说、诗歌等文学作品。

我还有个旅行计划。想在这个暑假到日本各地去访问。打算在暑假结束之前尽量多走几个地方，增长见闻。

(2)

王：老师，最近我觉得日本文化、历史的学习有趣起来了。

铃木：是吗？那么正好有一本好书，这本书把日本文化解说得很通俗易懂。

借给你看看吧。

王：谢谢。请让我看看。不知能借多长时间？

铃木：可以借到下个月。你读后一定把感想讲给我听听。

王：那么，我就不客气地借您的书了。我正想多读些书，好好学习一下呢。

铃木：好嘛。有干劲是最重要的。努力吧！

第2课 小王的日记

(1)

小王每天写日记。以前她一直用中文写。前些日子铃木先生劝他说：“试

着用日文写日记怎么样？”近来她就用日文写日记了。

6月10日 星期二 晴

课后去图书馆借了书。在图书馆前遇见了佐藤。

在日本同学中，佐藤是我最要好的朋友。他说将来想当日语教师。他总是那么爽快开朗，爱开玩笑，逗我们乐。

我们俩去茶馆聊了一会。谈到日语难学等等，后来话题转到电影上，佐藤喜欢看电影，每星期去看一次。

我们越聊越起劲，就约定后天星期四一起去看电影。我盼着后天快点到。

6月12日 星期四 雨

下午5点和佐藤在涩谷站前会合，一起去看电影。

佐藤带我去看的是喜剧片子。佐藤说她喜欢看能令人尽情笑的电影。我认为这点符合她本人的性格。

好久没看电影了。有的地方说得太快，不好懂，但是看着画面也似乎大体明白了。另外，似乎也体会到一些日本人的幽默感。

看电影是愉快的事，而且可以学习语言。今后要抽空尽量多看电影。

(2)

佐藤：怎么样，有意思吗？

王：嗯，很有意思。有的地方叫人忍不住发笑。

佐藤：是吗？能做到看电影发笑就很不简单了。在我没有察觉的这段时间里小

王的日语进步真快啊。简直像已经在日本住了好几年的人啦。

王：哪里。因为有画面，也就大体明白了。

佐藤：小王平时不大看电影吗？

王：嗯，只是去年夏天看过。一年左右没看了。

佐藤：是吗？看电影可以学习语言，所以要尽量多看看，怎么样？有了好电影，我还约你一起去看吧。

第3课 什锦寿司饭的作法

(1)

今天，小王和小张应邀到田中家里吃晚饭。

田中在旅行社工作，他为访问日本的外国旅游者提供各种方便。小王和小

课文译文

张去年从中国来到日本时，也曾受到田中的照顾。

田中家有田中和他夫人、还有女儿纯子，一共三口人。今天，听说田中夫人要亲手为他们俩做什锦寿司饭。小王提前来到田中家，跟夫人学什锦寿司饭的作法。她还作了以下记录。

用料(五个人的份)

米…… 3 合	笋……… 100 克
香菇…… 4 个	藕……… 1 根
胡萝卜…… 50 克	嫩豌豆角…… 30 克
虾……… 100 克	鸡蛋……… 3 个
海带、木鱼高汤，酒，砂糖，酱油，醋	

作法

要作什锦寿司饭，首先米饭要做得比平时稍硬一些。烧饭期间准备好各种菜码儿。

将笋、香菇切碎，加入高汤、料酒、糖、酱油，煮熟。把藕切成薄片，加入高汤、料酒、醋、糖，煮熟。将胡萝卜、嫩豌豆角切成丝焯一下，把虾也焯一下。将鸡蛋摊成薄饼后切成丝。

然后，等米饭做好了，趁热用醋和糖搅拌，再把准备好的鸡蛋以外的菜码依次混放进去。

最后装入盘内，上面放上鸡蛋。根据个人爱好，还可以添加紫菜丝或红姜丝。

(2)

夫人：小王，什锦寿司饭的作法并不那么难吧？

王：嗯。不过把菜码切得那么细可够难的。切香菇的时候，差一点切着手指头。

夫人：太危险了。我刚才碰到热锅时也差点烫伤了。

王：要紧吗？

夫人：啊没关系。来，这样，再放上鸡蛋、紫菜和红姜就做好了。

王：多漂亮啊。

夫人：是吧。外观漂亮的菜会引起食欲的。

第4课 餐馆对话

(1)

田中：你吃什么？

夫人：请把菜单给我看看。

田中：瞧，这是菜单。

夫人：嗯，汉堡牛肉饼、米饭和蔬菜色拉。另外，想吃冰激凌。

田中：嘿，虽然担心发胖，可吃得真不少啊。

夫人：哎呀，真没礼貌。不过，是不是我吃得太多了？

田中：哈哈，我是开玩笑。难得有机会到餐馆吃饭，尽量多吃一点吧。我要咖喱饭和咖啡。

侍者：您选好菜了吗？

田中：是的，汉堡牛肉饼、米饭、蔬菜色拉和冰激凌。另外请拿一份咖喱饭和咖啡。

侍者：好的，明白了。等用过饭以后再上冰激凌和咖啡好吧？

田中：嗯，就请这么办。

侍者：是的，明白了。

(2)

第(1)段是田中和夫人在餐馆里的对话。这是两个人谈话的时候，餐馆侍者走了过来的场面。在这段对话当中，表现出日语口语的几个特点。

日语会话使用的言语因人际关系而有很大的变化。家人、朋友这种亲密关系之间并不常用“です”“ます”的礼貌说法。一般不说“何にしますか”，而是用较随便的“何にする”的说法。

田中对夫人用的是较随便的说法，但对餐馆侍者使用的是较客气的说法。侍者对田中用的则是更加有礼貌的言词。既非关系亲密而且侍者与顾客的地位不同，所以特别有礼貌。

日语当中，男性和女性在言语使用上也有差异。比如，自称“ぼく”是男性特有的说法。女性通常是用“わたし”。相反，“食べ過ぎかしら”的说法主要是女性用语。要是男性，就用“食べ過ぎかな”之类的说法。

根据亲密程度、地位不同等人际关系而改变说法以及男、女用语不同，

课文译文

是日语口语的一大特点。这既是日语的有趣之处，同时也是难点。

第5课 梅雨和日本人的住房

(1)

在日本，除北海道之外，从6月到7月淅淅沥沥下雨的日子持续不断。这个时期叫作梅雨季节。

梅雨季节气温高，湿度也大，所以感到十分闷热。因此，住在日本的外国人几乎都说“梅雨不好对付”。在凉爽、干燥的地方长大的人尤其要说“闷热得受不了”。

日本人自古以来就为梅雨而烦恼。于是，为了在气候闷热的时候也能过得舒适，想了种种办法。

最能体现这种办法的是日本传统的住房吧。

日本的住房墙壁少，用能够随意取下下来的隔扇和拉门间隔房间。在寒冷的冬天，隔扇和拉门就这么关着过冬。可是到了炎热的夏天，就把这些隔扇拉门取下来，把整个房子打通，作为一间大屋子使用。这样通风好，所以非常凉快。

在住房的材料上也有讲究。日本的住房多用木、竹、纸等植物性原材料。隔扇、拉门用木料和纸作成，铺在地板上的榻榻米则是用稻草和灯心草编织的。植物性材料吸潮，所以能适应湿度大的风土。

随着时代的变迁，住房的建造方法也有了改变。近来，在日本西洋式建筑多了起来。但是，考虑到日本的风土，传统的住房方面想来也有不少值得学习的地方。

(2)

山田：啊，是小张，欢迎。这样的下雨天，真够呛吧！没淋湿吗？

张：嗯，没关系。雨并不怎么大。只是闷热，尽出汗。

山田：哎，别呆在那儿，上来吧。请到这边。

张：噢，是铺了榻榻米的房间啊。这叫隔扇、这叫拉门吧。

山田：挺了解情况啊。有点儿热，开开隔扇吧。很通风的啊！

张：吹进来的风真凉快，还是自然风感觉舒适啊。

第6课 七夕

7月7日是七夕。七夕节活动是八世纪左右从中国传到日本的。在日本，这一天孩子们把自己的心愿写在纸上，挂到竹子上。

在中国，还有一段和七夕相关的这样一个古老的传说。

从前，某地有个贫穷的放牛青年。这个青年住在哥哥家里，有一天被赶出了家门。

年轻人就开始和牛在一起过活。他每天都精心照料它。

有一天，牛开口说道：

“明天，仙女们要到湖里洗澡。仙女的衣服堆放在那里，你就把那件红色的衣服拿去，躲起来。这件衣服的主人将成为你的妻子。”

第二天，年轻人来到湖边一看，正如牛所说的，仙女们正在沐浴。这青年就照牛所说的那样，把红色的衣服拿去，躲了起来。

不一会，仙女们从湖里上来，其中一个因为没有衣服而感到为难。这时，年轻人露面了，并说：“你的衣服在这儿。”

这位仙女名叫织女。织女是天上神仙的孙女。

两个人马上就相爱了，青年对织女说：“请留在人间和我结婚吧。”

两人结了婚，开始过着幸福的生活。每天都十分愉快。还生了个可爱的男孩和一个可爱的女孩。

一天，牛对青年说：“如果我死了，请把皮剥下留起来。以后你有了困难，就把那张皮披在身上。”留下这句话，牛就死去了。

这时，在天上，神仙正在寻找织女。由于织女留在人间不归，神仙大怒。当知道他们俩生活在一起，就来把她带回去。

神仙带着织女向天上飞去。这时，青年想起牛说过的话。他刚把牛皮披在肩上，刹时青年的身体便往天上飞了起来。

青年拼命地追赶。而且只差一点儿就要赶上了。可神仙有力地一挥手臂，霎时间在青年的眼前出现了一条巨大的银河。青年和织女隔在银河的两边，就这样被分隔开来。

织女悲痛欲绝，每日哭泣不止。每天都在盼着和青年相会。神仙见到织女这个样子，觉得十分可怜。于是，允许他们俩只在每年7月7日相会一次。

课文译文

一到7月7日，许多喜鹊就在银河上架起一座桥。青年和织女一年一度可以在这座桥上相逢。因此，据说唯有这一天喜鹊都不在人间。

第7课 发生地震的日子

(1)

大正12年(1923年)9月1日，震级为7级的大地震袭击了关东地区。由于这次地震，关东地区受害严重，死亡10万人，70万户住房损坏、烧毁。这次地震被叫作“关东大震灾”，当时的恐怖情况至今还在流传。

说到这里，请注意9月1日这个日期。月份和日子的数字相加，即 $9 + 1$ 等于10。据此，物理学家坪井忠二先生在一家报纸的专栏中写道：“构成数字10的日子多发生大地震”。据他说查阅记录则看到，12月7日、11月26日等也曾发生过大地震。按照 $1 + 2 + 7$ ， $1 + 1 + 2 + 6$ 的方式把各个数字相加，不可思议的是答案均为10。

地震和日期之间难道有什么关系吗？

实际上，这种说法要了一点特别的小把戏。坪井先生是这样揭开这个秘密的。

月和日的数字相加，最小的数是2，即1月1日($1 + 1$)，10月10日($1 + 0 + 1 + 0$)等，1年当中有4天。反之，最大的数是20，即只有9月29日($9 + 2 + 9$)这1天。其它日期都在2至20之间。

其中，构成10的日子很多，总共有36天。所以，在构成10的日子里大地震的次数多是不足为奇的。原因则是1年当中这个日子相当多。

不过，要是不解开这个秘密，听到“构成10的日子多发生大地震”的话，许多人岂不是会生“的确有道理，真不可思议啊”的想法吗。

坪井先生说：“所谓迷信，也许就是如此产生的吧。”

(2)

王：啊，地震啦。玻璃窗在哗哗地响啊！

佐藤：真的，是在晃动。不过这算不上什么大地震。不必那么害怕，震级不过2级左右吧。嘿，好像已经停啦。

王：哎哟，真吓人。佐藤倒是处之坦然呀。

佐藤：因为我对地震已经习惯啦。在东京，现在这样的地震经常发生。不过，

偶而也有挺吓人的较强的地震。

王：要是达到佐藤先生都感到吃惊的程度，我这样的就要吓瘫了。发生这样的地震怎么办呢？

佐藤：没什么关系，现在的建筑物是十分坚固的。而且，发生大地震的时候，还是不要慌慌张张地往外面跑为好。吓瘫了也许反而更加安全。

第8课 数字面面观

纯子：喂，张叔叔不是擅长数学吗，这道题挺难，算不出来。能不能教给我？

“1只玻璃杯定价88日元。运输这只杯子，每只能得9日元。可是，如果运输途中物品有损坏，损坏的部分不仅不能得到运费，还必须赔偿损坏物品的货款。假设运送1000只杯子得到7642日元，究竟总共损坏了多少只杯子？”

张：哦，题目相当复杂啊。纯子，你想怎样算才能得出答案呢？

纯子：先设想毫无损坏地全部运到可以得多少钱，然后再看这笔钱和实际上得到的钱的差额有多大，就好了。那么，就像下边这样：

$$9 \text{ 日元} \times 1000 = 9000 \text{ 日元}$$

$$9000 \text{ 日元} - 7642 \text{ 日元} = 1358 \text{ 日元}$$

张：嗯，损坏了几只，才少收1358日元呢？

纯子：所以，我想用1358日元去除一只杯子的定价就行了，可是不能整除，这是怎么回事？怎么想也不明白。

张：原来是这样。纯子，看来你有点理解错了。坏子1只仅仅损失88日元就行了？再想想看。

纯子：噢，对啦，坏了1只，必须赔偿88日元，另外还得不到9日元的运费……。这么算就对啦。

$$88 \text{ 日元} + 9 \text{ 日元} = 97 \text{ 日元}$$

$$1358 \text{ 日元} \div 97 \text{ 日元} = 14 \text{ (只)}$$

纯子：答案是14只，对吧。

张：对！好吧，这回我出个题目。

假设收集7个果汁空瓶，用这些空瓶可以换回1瓶果汁。那末收集49个空瓶能换回几瓶果汁？

课文译文

纯子：这很简单。收集7瓶能换回1瓶，49除以7就得了呗。答案是7瓶。

张：可惜不对。答案是8瓶。

纯子：哟，怎么回事，应该是7瓶呀。

张：不用说，最初的49瓶能换回7瓶果汁。可是把这7个空瓶收集起来，不是还可以换来1瓶果汁吗？

$$“7 + 1 = 8”$$

所以答案是8瓶。

纯子：噢，是这样。不过，这可是狡辩啊。

张：哈，哈……。说是狡辩也未尝不可。这样的题目不是也很有趣吗？

第9课 暑假旅行计划

(1)

接线员：这里是东京旅行社。

王：喂，喂，我姓王，请接营业部田中。

接线员：好的，请稍等一下。

田中：喂，我是田中。

王：是田中吗？我是小王，您好。

田中：您好。您往我单位打电话找我，可是少有的啊。

王：嗯，其实想和您商量一下暑假旅行的事。现在就到你们社里来可以吗？

田中：是这么回事啊。要是旅行的话，社里有不少介绍旅行的宣传小册子。请务必来吧，大概几点钟？

王：我想两点钟左右去拜访。

田中：知道了。我留出时间等您。您知道旅行社的地点吗？

王：嗯，大体上清楚。从东京车站的西口出去再向右走是吧？

田中：是的。然后走到第一个红绿灯的地方向左拐，右手第三幢楼就是。

王：我想起来了。那末我就和朋友佐藤两个人来拜访，请您多关照啦。

(2)

也许是由于日本人工作过度的评论日渐增多的缘故，近来日本的公司也开始规定了长达一周或10天的休假。利用这个休息时间离开城市去游山玩水

或者出国旅行的人也一年比一年多起来。

另外，8月中旬适逢旧历的盂兰盆节，为了给先人扫墓，回故乡去的人也很多。这样，平时分离各处的家人或亲属能够聚会，也似乎成了盂兰盆节的一大乐趣。盂兰盆节前后，大量的人同时回乡省亲，然后又一齐返回城市可以说是达到了“民族大迁移”的程度。

这样一来，夏天旅行的人多，所以火车十分拥挤，道路也发生阻塞。旅馆、饭店等如果不提前预定，就住不到。因此，要能愉快地旅行，必须提前作出计划，安排好交通工具和住宿地点。

第10课 在上野火车站

(1)

在日本，有以东京话为基础的普通话，广泛通用于全国各地。但是另一方面，各个地方又有当地独特的言语。这种言语就叫作方言。

方言与当地的风土、生活有深刻的联系，各地有各地的情趣。所以，对待自己生养之地的方言，任何人都怀有强烈的眷恋。

故乡啊，乡音恋恋

去听乡音

在停车场的杂沓中

这是石川啄木写的一首短歌。意思是说“非常怀念故乡的方言。我特意到停车场的人群当中去，就是想听一听乡音。”离开故乡岩手县而在东京生活的啄木，大概是感受到对故乡方言的特殊怀念之情吧。

据说在这首短歌中吟诵的“停车场”就是指上野火车站。上野火车站位于东京的中心，很久以来就被称为东京的北大门，是从东北地区和上越地区来到东京或返回去的人大量上下车的火车站。因此，啄木到那里去就可以听到故土的乡音。

如今，在上野站拥挤的人群中，仍然可以听到用乡音愉快地交谈的声音。现在，说不定还有像啄木那样怀着眷恋乡音之情到上野站去聆听乡音的人呢。

(2)

王：真拥挤啊，幸亏事先买好了对号入座的票。是不是大家都是去青森参观佞武多节的？

课文译文

佐藤：回老家的人可能也不少吧。因为很多人都在愉快地讲方言哪。

王：说起方言，虽然达不到中国那种程度，可是在日本各地也有不同的言语啊。关东地方说“ありがとう”，关西一带就说“おおきに”是吧。

佐藤：对，无论你到哪里去，各地都有当地的方言。

王：青森也有方言吧？

佐藤：是的。据说有这样的对话：“どさ”“ゆさ”。怎么样，明白吗？这话是什么意思？

王：“どさ”“ゆさ”，不明白，给讲一讲。

佐藤：“どさ”是“どこへ行くの。（到哪儿去）”的意思。“ゆさ”是“お湯へ行く。”就是说“お風呂に入りに行く。（去洗澡。）”据说青森这地方挺冷，在外面不能说长话。所以寒暄问候都缩短了说。

王：嘿，是这么回事。天气冷所以言语也简练，方言毕竟还是和当地的风土、生活方式有密切的关系呀。

第11课 旅行和交通

(1)

以前，在没有铁路、汽车之类交通工具的年代，无论去何处，只能靠自己的双脚步行。古人出门旅行，也只好持续走上好几天。

到了江户时代（1603年—1867年），修建了连接江户（现在的东京）和日本各地的交通要道，很多人便开始沿着这些交通要道徒步旅行。连接江户和京（现在的京都）的东海道交通量特别大，沿街城镇十分热闹。

江户和京的距离大约500公里左右，当时的人们好像要用12天至15天走完东海道这段路程。人一天能走的距离，成人男性大约是40公里左右。因此，即使每天持续步行，无论如何也是需要这些天的吧。

现在，东京和京都之间跨越着一条东海道新干线。要是利用以时速20公里以上而自豪的新干线，从东京出发用不了三个小时就可以到达京都。以前要用10天以上，而今仅用不到三个小时即可抵达，不禁令人感到交通确实方便多了。

现在，因工作利用新干线从东京去京都或大阪，当日往返的出差等已成了家常便饭。

但是，尽管新干线如此方便，却有人说：“利用新干线旅行毫无乐趣”。说是新干线速度太快，不能品味旅途的情趣。并且，据说有人特意乘坐每站都停的慢车去旅行。

然而，如果古人听到这种说法，一定会以为“这种说法太过分了”吧。

(2)

田中：小张，旅行计划订好了吗？

张：嗯，订好了。决定和山田一起去京都，打算下星期三出发。

田中：旅馆、新干线的预约手续办妥了吗？

张：旅馆已经订好了。但新干线不是对号入座的，而是不对号的。我们只买了车票和特快票，预定乘10点由东京始发的“光号”。

田中：看看时刻表确认一下吧。噢，是“光5号”，到达京都的时间是12点40分，真快啊！请一路当心。

张：谢谢，等我回来给您讲旅行见闻吧！

第12课 来自京都的信

(1)

田中健一先生：

敬启者

前几天承蒙热情关照。现在，我和山田已经来到了京都。

京都依旧保留着古老的寺院和条条街道，是一座非常美丽的城市。来到京都实地观看，我非常喜欢这座城市。听说京都城是仿照中国的西安建造的，听到这话，越发对京都感到亲近了。

然而，这里的炎热却出乎我的预料。听说京都处于盆地，夏天炎热。果然，象蒸笼一般闷热。不过，今天虽然炎热，我们还是步行游览了清水寺、龙安寺、圆山公园等名胜古迹。

我们还登上著名的清水寺舞台。在日本，听说当下定决心去做某件事，有时用“做从清水寺舞台纵身而下的打算……”这种说法。如果在中国则该说“做从西安大雁塔纵身而下的打算……”了吧。

我们还观看了京都夏季里著名的例行活动之一——大字篝火。黑暗中只见半山腰的火刚一点着，一瞬间就熊熊燃烧起来，形成一个“大”字。这种情

课文译文

景充满了幻想色彩，十分壮观。据说这种大字篝火的例行活动一结束，京都的夏季也就过去了。

说起来，暑假剩下没多少天了，我们打算后天回东京，着手准备九月开学后的学习。

多亏田中先生多方指导，旅行十分愉快，谢谢。

为了表示感谢，另外寄上京都特产的糕点，请您品尝。

残暑酷热，望您多保重。

张建国谨上

8月17日

(2)

山田：小张，信已写好了吗？

张：嗯，刚好写完。

山田：给田中先生写了些什么？

张：可多啦。参观清水寺啦，观看大字篝火啦。不过，今晚能看到大字篝火真是太好了。不管怎么说，一年里只有今天才能看到啊！

山田：说得是啊！不过，当看到篝火熄灭时，我感到有点寂寞。心想，夏季即将结束啦。

张：哎，山田，明天去岚山看看吧。听说岚山有前总理周恩来的诗碑，很想去看看。

山田：是啊，好容易到了京都，岚山也是要去的。

第13课 第五十亿个婴儿

(1)

1987年7月11日，在南斯拉夫的萨格勒布市诞生了一个婴儿，他是世界上的第50亿个人。是个名叫马迪的男孩。

根据人口统计，联合国将这一天定为“五十亿人口日”，并决定祝贺那个婴儿的诞生。联合国秘书长德奎利亚尔访问了萨格勒布市的医院，并致贺词：“希望马迪和他的同辈人能和平地生活。”

本世纪20年代，世界人口为20亿，因此半个多世纪以来增加到了1.5倍。据说到21世纪初，还要增加10亿，将达到60亿。

人口如此急剧增长是由于医学进步、人的死亡率大幅度减少的缘故。依靠高度的医疗技术，幼儿死亡率降低，人的寿命显著延长。这对人类来说是件非常可喜的事情。

但是，可不能只顾高兴。正如“人口爆炸”所言，人口急剧增加是对人类的一种威胁。

例如粮食问题，现在地球上还有很多因饥饿而感到困苦的人们。如果人口仍然这样持续增长，粮食一定会成为越来越严重的问题。另外，生活和产业废弃物增多，环境受到污染。和人口数量相比，石油、煤炭等资源不足的问题也令人担忧。

第50亿个婴儿的诞生对人类来说是令人兴奋的消息。但同时也是宣布严峻时代到来的消息。在祝愿马迪和他同时代的人们能和平地生活的同时，我们还必须更加认真地思考地球的未来。

(2)

王：日本人的平均寿命是世界上最长的吧。听说女性的平均寿命已超过80岁。

佐藤：由于医学发达，所以寿命也相应延长了吧。再说，食物丰富，我觉得营养平衡有好转也是原因之一。

王：人的平均寿命延长了，人口就会大大增加。对了，有一个报道说地球上的人口终于达到了50亿呢。

佐藤：人口增加说它是喜事也可以算是喜事，可是……。

王：是啊，人口这样继续增长下去，究竟会怎样呢？让人不能不思考这个问题啊！

佐藤：确实如此，也许地球很快就要挤满人了。

王：人太多也会造成粮食不足，地球的资源也有限，这是个严重的社会问题啊。

第14课 想成为一只鸟

(1)

自古以来人们就想像：“如果能像鸟儿那样在空中自由地飞翔那该多好啊！”

课文译文

文艺复兴时期的天才——列奥纳多·达·芬奇似乎也曾怀有“要像鸟儿那样在空中飞翔”的梦想。他在距今500年前就解剖过鸟，还把鸟飞翔时的动作速写下来，以探讨鸟能在空中飞的原因。

据说他甚至把只有现代连续摄影才能表明的动作也准确地画下来了。在这项研究的基础上他还给人们留下了飞机的设计图。

列奥纳多·达·芬奇设想的飞机虽然没有成为现实，但那以后很多人研究过在空中飞翔的方法。有人设想乘气球在空中飞，有人从海鸥、鸢不拍打翅膀地飞翔中受到启发，设计出了滑翔机。直到本世纪初，美国的莱特兄弟终于使装有发动机的飞机的实验获得成功。

在列奥纳多·达·芬奇时代几乎没人想到人能在空中飞翔。听说在莱特兄弟成功之前，极少有人对飞机实验感兴趣。肯定有很多人认为梦想终究是梦想。但是，有一些人千方百计要实现“想成为一只鸟”的愿望，并为此努力奋斗。可以说他们的无数次努力终于开花结果了。

如今，大型客机在世界的上空翱翔，现在人们的梦想不仅是地球的上空，并且已经到了宇宙。人类在宇宙中自由飞翔，已是一个时间的问题了吧。

(2)

王：史密斯，童年时代，你想当什么人？

史密斯：想过许多，但最想当的是飞机驾驶员

王：噢，是吗？其实我也曾向往过当一名空中小姐。童年时或许大家都憧憬天空吧。

史密斯：是啊，所以今后想当宇航员的孩子会多起来吧！

王：宇宙旅行已不是梦想了。当个宇航员，在宇宙中翱翔，这个理想太美了。

史密斯：是啊。说起理想，我弟弟说他想制造航时器。

王：这太有意思了。能造出来就好了。

史密斯：可是，作为一个制造航时器的人却不爱学理科和数学。反而每天尽看科幻小说。

王：边看科幻小说边研究航时器，不是很有趣的吗？

第15课 对小的东西的挚爱

(1)

据说古代中国的使节来到日本，乘船渡过瀬户内海时说了这么一句话：“日本也有相当大的河啊，这条河叫什么河？”

看惯了黄河、长江等大江大河的中国人把瀬户内海当成一条河在所难免。但是，在场的日本人听到了定会感到吃惊。必定心想中国的河流竟那么宏伟吗？与中国的自然环境相比，日本的自然环境就那么渺小吗？

不仅是中国人，听说有个美国人见到日本的河，说：“这哪里是河，是瀑布。”看来，由于日本河流河面狭窄，多湍急之处，所以他才有这样的感想。

诚然，和中国、美国相比，日本的山川都很小。所以在中国人和美国人眼里，日本的自然风景看上去也许就象庭园盆景似的。

说到庭园盆景，日本倒有一种盆景园艺，爱好者颇多。这是将松、梅等栽在花盆里，修剪得小巧玲珑，供观赏用的。一般认为盆景本是从中国传到日本的，但它却在日本获得了独特的发展。把本来就小的自然景致搞得更小，日本这个民族对小的东西有着十分深厚的感情。

在产业和技术方面也可以看到同样的倾向。如果举出日本工业产品中声誉好的，首先要数照相机、手表这类小型的精密器具。另外，最近在开发计算机的微型集成电路方面，日本的技术也获得显著进展。即在生产小型精密产品方面，日本人向来特别善于发挥才能。

从盆景到尖端技术，都可以感受到日本人对小的东西的深厚感情。

(2)

史密斯：小张，你在看什么？

张：看一篇题为《对小的东西的挚爱》的文章，写得挺有意思。

史密斯：嘿，让我看一看。哈哈。美国人说日本的河不是河，是瀑布啊。

张：看来是这样。就是说日本人生活在一个那么小的自然环境之中，因此日本人对小的东西有着深厚的感情，而在产业和技术方面也有所表现。史密斯你怎么想呢？

史密斯：日本人并不是对所有的小的东西都喜欢，不过日本人确实善于制作小的东西，或把大的东西改制成小的。

课文译文

张：是啊，这也许有点像似非而是的说法，制造微小物品而赢得了宏大的经济实力。这种观点挺有意思吧。

史密斯：嗯，这确实是个有意思的观点。

第16课 电子计算机的变迁

电子计算机是靠电子电路计算数值的一种仪器。

在电子计算机中，数字都用二进制来表示，这是为了把数字变成电信号的缘故。因为如果采用二进制，所有的数字都成为0和1两类，可以用有无电信号之差别来表示。

以我们平时使用的十进制的0至9为例来说明一下。

如图所示，电子计算机将它们转换成信号。拿电灯泡作个比方，就是用一些灯泡的某种闪亮组合来表示，而计算的时候，使这些电灯泡的开关在一瞬间之内有的开、有的关，将信号组合起来从而得出结果。

因此，简而言之，可以说电子计算机就是使电信号忽亮忽灭的开关的汇集物。当然，如果存储复杂的数字并进行计算，就需要成千上万个开关了。

最初充当开关作用的是真空管。人类第一架电子计算机制造于1945年，大约用了两万个真空管。可是装有两万个真空管的机器过于庞大，而且需要巨大的电力。由于这些情况，一般认为用真空管充当开关，就不可能发展电子计算机的实际应用。

在这种情况下出现了利用半导体制作的晶体管。

半导体具有介于像金属那样容易通过电流的物质和像玻璃那样难以通过电流的物质的中间性质。当给予某种条件时，它就通电，而当给予另一种条件时则不通电。所以能起开关的作用。

晶体管体积小、耗电量少，具有真空管无法比拟的众多长处，所以，晶体管一投入实际应用便立即取代了真空管，促进了电子计算机技术的飞跃发展。

以后，经过改良晶体管，又开发出包含许多晶体管功能的集成电路(IC)和大规模集成电路(LSI)。

由于这项技术革新，最初用两万个真空管制成的庞大的机器，如今只用一个LSI就可以制成，而且小得能够放在手心上了。

第十七课 天气预报

(1)

据说江户时代也有天气预报，由幕府里的官吏预报第二天的天气。那是个几乎没有观测气象技术的时代，当然无法正确预报。尽管如此，如果预报得不准，还要严厉追究负责预报的官吏的责任。

于是，听说官吏为了逃避责任，每天都发出“明日は雨が降る天気ではない”的预报。如果把这个预报中的“雨が降る”看作是“天気”的修饰语，那就是“明天不下雨”的意思。可是，如果把句子从中间断开，成了“明日は雨が降る。天気ではない。(明天下雨，天气不好。)”则意思正好相反。如果没有标点符号，这句话可以两面理解。所以，不论明天天气如何，只要预报“雨が降る天気ではない”。就绝对不用担心预报不准了。

这样一来确实可以逃避被追究责任而了事。主意实在高明。不过，这大概是杜撰的故事吧。

现代，这种敷衍了事的天气预报当然是不能想像的。即便如此，提起天气预报，以前人们把它当作不准确的代名词。有时，“就因信了天气预报才吃了大亏”的意见大量涌向气象厅。由于预报常常不准，恐怕有的预报员会觉得“宁可在江户时代当预报员的好。”

不过，最近不大听到对天气预报的意见了。因为气象观测的技术发达了，预报也准确了。现在可以用雷达正确地捕捉云层的动向，全国都配有自动观测各区域天气的设施。

而且还能用电子计算机对观测到的资料进行分析，立即预报气象变化。更先进的是通过气象卫星可以掌握雷达捕捉不到的大范围气象情况，使天气预报的精确度越来越高。

由于天气预报是以自然为对象，所以不可能百分之百的准确。但是，毫无疑问，现在的进步是江户时代的官吏所无法想像的。

(2)

播音员：现在播送天气预报。今天东京地区风向西北，晴转雨。上午9时至下午3时之间，降雨量达1毫米以上的概率为90%。受17号台风影响，傍晚至夜里风雨有可能加大，请听众注意。

课文译文

夫人：哎呀，糟糕！从傍晚起好像要下大雨，你带伞去吧！

田中：哦，要下雨？你瞧，天气不是挺好嘛。不像要下雨呀。

夫人：可这是电视天气预报刚说的啊。说是受台风的影响，要下大雨呢。

田中：噢，是吗？最近的天气预报挺准的，那我就带伞去吧！

第 18 课 高龄化社会

1982 年中国进行第三次人口普查时，65 岁以上的高龄人口已达五千多万人，约占人口总数的 4.9% 左右。

联合国规定高龄人口超过 7% 的国家为“老年人口型国家”。所以还不能说中国社会已高龄化。但是到了 2000 年，其比例将占总人口的 7.4%，达九千三百万人，届时将步入高龄化社会的行列。

图表甲表示日本总人口中高龄人口比例的变化。在日本，早在 1970 年，高龄人口比例已超过 7%，预计到 2000 年将达到 16.3%。

高龄化社会的问题是如何抚养那么多的老年人，随着老年人的增加，养老金和医疗费的金額急剧增加。为了筹措这种社会保障费用，国民所担负的税金渐渐加重了。

图表乙表示 100 个 15 岁至 64 岁的人必须抚养的老人數。1970 年，100 人大约要抚养 10 个老人，而到 2000 年则大约要抚养 24 人。

要充实社会保障，那么每个国民就要相应地加重负担，对这一点我们必须作好精神准备。

不仅财政方面，谁来抚养老人也是个大问题。随着高龄人口的增加，只有老夫妻俩或只有一位老人自己生活的家庭也在增加。这些老人不安地倾诉说：“当自己身体衰弱、动不了的时候，究竟由谁照顾才好呢？”如果在家里由子女抚养是最好不过了，但由于各种原因，也有不能抚养老人的情况。似乎有许多人说：“因工作关系，不得不与双亲分居。”这是一个仅靠鼓励孝敬老人所难以解决的社会问题。

另外，没有工作的老人很难觉得自己对社会是个有用之人，往往看不到自己生存的意义。长年努力工作创造了今日社会的老人们感到寂寞，这确实是一件令人遗憾的事情。可以说建立一个能使老人们感到生活有意义的社会

是高龄化社会的一大课题。

今后，随着高龄化的推移，还会产生其他各种问题。而且，如何应付高龄化社会，这不仅对日本，对全世界各个国家都将是个很大的社会课题。

第19课 选自报纸上登载的读者来信

(1)

在日本，多数中学和高中都让学生穿制服。一般是男生穿立领学生服，女生穿水兵服。但是最近好像也有不穿制服的学校了。学校是否有必要穿制服正是意见分歧之所在。某报读者来信栏中，围绕制服有无必要，产生了以下的意见争论。

(2)

前几天，上高中的女儿抱怨学校的制服说，还是没有制服的好，多自由啊。

听她讲，学生中间好像有要废除制服的意见。但是，我认为在主张废除制服之前，应该重新认识一下穿制服的好处。

首先，对学生来说，没有比制服更方便的服装了。上学时自不必说，有制服的话，去任何地方都可以穿，既可以当日常便服，又可以当出门穿的衣服。哪还有这么既方便又经济的服装呢！

相反，如果没有制服会怎样呢？学生们不是每天要为穿什么衣服去上学而烦恼吗？学校里也难免出现学生互相攀比、讲究打扮的风气。

另外，制服给学生心灵带来的影响也是不容忽视的。穿上制服，会意识到自己是该校的学生，还会对自己的言行产生责任感，激发学习热情。

我理解年轻姑娘们讨厌穿制服的心情。但是不论时代怎样变，我仍然认为穿制服对高中生是最合适的。

(A 一位高中生的父亲 50岁)

(3)

读了前几天读者来信栏中A先生的意见，也想提笔谈一点见解。

A先生担心如果没有制服学生会互相攀比、讲究打扮。但决非如此。其实，我毕业的那所高中就不穿制服，可并没有发生互相攀比，讲究打扮等情况。即使打扮，也并非追求时髦、穿华丽服装，而是在穿戴符合自己个性、更

课文译文

像高中生的服装上下功夫。

另外，A先生说制服会给学生心灵带来好的影响，果真如此吗？

在穿制服的高中就读的我的朋友当中，就有人对靠制服使人意识到自己的立场这种观点很反感。所以，不能说制服只给学生的心灵带来好的影响。

再说会被服装左右心灵的话，这不是更有问题吗？我认为要做一个不被服装所支配、有独立见解的人才是重要的。

现代教育特别期待培养出个性丰富的人。为什么在注重每个人个性的时代还要拘泥于制服呢？我觉得设法穿上适合自己个性的服装远为重要。

(S 大学生 19岁)

第20课 日语和汉字

(1)

日本历来受到来自中国的各种恩惠。尤其是学到汉字这种文字对日本人来说是划时代的事情。由于传入了汉字，日本人终于能用文字把自己的语言写出来了。

最初，当汉字刚刚传入日本的时候，所有的词语均用汉字来书写。然而，其后又在汉字的基础上创造出假名。由汉字的草书写法创造出平假名，同时取汉字的偏旁部首造出了片假名。从此，采用汉字和假名两种文字的书写方式便固定下来。

到了近代，汉字在日本引进西方文明时也发挥了很大作用。

明治时代，日本人尝试在政治、经济、科学等方面把西方语言译成日语。于是，把汉字和汉字组合在一起或灵活运用原有的汉语词汇作为译词。由于一个个汉字都是表意文字，所以就能创造出可以自然而然领会外语词义的译词了。

“金属”“物”等有关自然科学的词，“議員”“裁判所”等有关政治的词，这些都是由于翻译西方语言造出来的。由于有了这些新词，即使没有西方语言的知识，日本人也能理解和使用必要的词语了。

此外，当时创造的汉语词汇中，还有的反传入汉字的故乡——中国去使用呢。

近代，日本人之所以能在极短的时期内引进西方文明，正是汉字的功

劳，这样说绝不言过其实。

(2)

王：老师，请教一下行吗？是这个句子……

铃木：写的是“このデパートは、いろいろなPRの方法を工夫している。
(这家百货商店千方百计地在搞各种宣传。)”

王：嗯，这个句子里使用了四种文字。

铃木：说得对。除了汉字和平假名之外还用了“デパート”这样的片假名，甚至“PR”这样的罗马字。

王：是啊，我想问老师的就是日语为什么采用这么复杂的文字体系呢？我认为不必搞得这么复杂。

铃木：这是个很难回答的问题。自古以来日本人一直是发挥汉字和假名的长处，分别使用的。现代，汉字和平假名混合使用就是一条原则。

王：可是，我发现街上却是用片假名和罗马字写的广告居多啊！

铃木：这就证明有那么多的外国词语进入日本。而一一翻译往往跟不上引进新思想、新技术的需要。

王：这也是发挥片假名和罗马字的长处吧。

铃木：是的。不过，这个句子可以这样改写一下：“この百貨店は、いろいろな宣伝の方法を工夫している。(这家百货商店千方百计地搞各种宣传。)”

王：这样一来，只有汉字和平假名这两种文字了。

铃木：是的。也许“百货店”这个词陈旧了一点，但对我来说，对用汉字的句子还是容易感到亲近啊。

王：我也觉得改写过的句子更容易懂。

铃木：“デパート”“PR”等都是听惯了的词。不过最近片假名和罗马字正在泛滥。有的人还觉得用片假名或罗马字表达意思，是绝妙的。可我认为应该珍惜长期以来用惯了的汉字。

语法项目一览表

语法项目一览表

- 按五十音顺排列
- 数字表示第一次出现的课次

• …以上, …	18
• …うえに, …	4
• …うちに／うちは…	1
• …おかげで, …	12
• …思いをする	18
• …思わず…てしまう	2
• …がいい	4
• …限り, …	16
• …かと思うと, (たちまち)	12
• …かねない	19
• …から…にいたるまで	15
• …がる	7
• …くらいなら, …	7
• 決して／必ずしも…ない	19
• …ことから, …	14
• …ことと存じます	12
• …ことに, …	7
• …ことにしよう	17
• …ことになる	13
• …(さ) てください	1
• …(さ) せてもらう／(さ) せていただく	1
• …ざるを得ない	18
• …される／…させられる	13
• …しかない	11

语法项目一览表

• …時点で	18
• …じゃないか	8
• …心配はない	17
• …ずに済む	17
• …ずに (は) いられない	11
• …すると, …	8
• …せっかく…のだから/…んだから, …	12
• …そうにない	17
• …それほど…のか	15
• …たがっている	6
• …たきり, …	2
• …だけでは済まない	18
• …ただでさえ	15
• …～だって	13
• …たととしても, …	11
• …たとたんに, …	6
• …たばかりに	17
• …ためか, …	9
• …たものだ	17
• …たらしい/…ばいい (よろしい)	4
• …たらどうですか/…たらいかがですか	2
• …つつある	9
• …～, て…	5
• …て (依頼・要求)	10
• …～である	9
• …～である～	20
• …～でいい	8
• …～ていただけないでしょうか	20
• …～てくれない	8
• …～てごらん	8

语法项目一览表

・…て差し上げます	1
・…ですって／…だって	10
・…で済む	8
・…てたまらない	5
・…てちょうだい	4
・…てならない	6
・…てばかりいる	6
・…てばかりはいられない	13
・…ではないでしょうか	7
・…ではなくて	11
・…てみよう	16
・…でも何でもなし	7
・…でもあり、また…でもある	4
・…てやる	6
・…てよかった	10
・…てよろしいでしょうか	1
・…といいですね	14
・…ということだ	6
・…というふうに、…	7
・…というものは、	7
・…というわけである	17
・…と言えば	10
・…と言えば…かもしれないけど	8
・…と言っても言いすぎではない	20
・…と思いまして	9
・…とおり	6
・（とかく）…がちだ	18
・…と比べものにならないほど	16
・…ところに、…	4
・…とされている	16

语法项目一览表

・～として	1
・…とする／…としたら，…	8
・…途中で，…	8
・…と同時に，…	20
・…とともに，…	13
・～とは～のことだ／～というのは～のことだ	10
・…となると，…	16
・…とよい	3
・どんなに…だろう	14
・…ないうちに	2
・…ないと，…ない	9
・…なければ…ない	14
・～などと	4
・～などと言われるほど…	9
・なにしろ…だから	12
・～なんか	4
・…なんて，…	9
・～に合った～	19
・～において（も）	15
・～における	18
・～にかけて…	15
・…にしたがって，…	5
・…にしては，…	14
・…にしても	19
・～にしよう	4
・～に対して，…	4
・…にちがいない	13
・～につき	8
・…にともなって，／とともに，…	18
・～になって，…	11

语法项目一览表

・…には，…	3
・～に向かって，…	4
・…にもかかわらず，…	19
・～によって，…	7
・～にわたって，…	20
・～の間に…	19
・～のことだから…	17
・～のせい	15
・～のなか，…	12
・…のは，…からだ	13
・…のは…ということだ	20
・～の方	9
・～のほうは，…	11
・～のほかに～まで	20
・…のも無理はない	15
・～のような～	1
・～のようにして過ごす	5
・～ばかり	1
・…ばかりか，～も…	8
・…ばかりでなく，…	14
・～は間違いない	17
・…分（の）	8
・…べきだ	20
・…ほど…	7
・～ほどではないけれど，…	10
・～ほど～な～はない	19
・本当にそうでしょうか／なぜ…のでしょうか	19
・まだ…とは言えない	18
・～までに／まで，…	1
・…まる	9

语法项目一览表

・…見込みだ	17
・…みたいだ	8
・…め	3
・…める	9
・もう少しで…そうになった／…ところだった	3
・～もしないうちに，…	11
・…ものだ	11
・…やいなや，（たちまち）…	16
・～や～といった	15
・…ような～	14
・…ような気がする	2
・…ようでは，…	19
・…わけにはいかない	17
・…わけである／わけではない	15
・わずか～足らず	11
・…わりには，…	4
・…んだから／のだから，…	4
・～を～と言う	5
・…んですよ	9
・形容词的连用中止	5
・疑问词＋…ても，…	10

补充词汇表 I

补充词汇表 I

(あ)

愛	愛
台図	暗号, 记号
愛読	爱读, 喜欢读
あいにく	不巧
あいまい	暧昧
明かす	说出, 揭露
あかとんぼ	红蜻蜓
あからさま	清楚, 公开
明かり	光, 灯
空き	空隙, 闲空
飽きる	饱, 够, 满足
空く	空, 闲, 缺额
悪	恶, 坏事
悪意	恶意
あくせく	小心眼
あげく	最后, 最终
明ける	天亮, 新年开始
挙げる	列举, 举行, 发动
あご	顎
浅い	浅
朝日	朝阳, 旭日
浅ましい	卑鄙, 下流
漁る	找食, 搜寻
味気無い	乏味, 无聊
預ける	寄存, 寄放
焦る	急躁, 焦躁

あちこち	这里那里
扱う	使用, 处理, 对待
あっさり	清淡, 素气, 爽快
あっち	那里
圧倒	压倒, 凌驾
圧迫	压迫
圧力	压力
当て	目的, 目标
あてがう	分配, 分给
アテネ	雅典
穴	洞, 穴, 孔
暴れる	胡闹, 乱闹
浴びせる	泼, 浇, 淋
油	油
あふれる	溢出, 漾出
甘える	撒娇, 讪脸
余る	余, 剩余
怪しい	奇怪, 可疑
操る	操, 掌握
粗い	粗糙, 稀疏
粗筋	梗概, 概略
争う	争夺, 斗争, 竞争
改まる	改变, 改革
改める	改, 改正
歩む	走, 步行
アラビア	阿拉伯

补充词汇表 I

あらゆる	所有，一切	言える	能说，可以说
有りったけ	所有，一切	怒り	发怒，愤怒
ありあり	清清楚楚	意気	气概，气势
有り様	样子，情况，状况	生き生き	活生生，栩栩如生
アルコール	酒精	息苦しい	呼吸困难
アルゼンチン	阿根廷	息詰まる	喘不上气
アルバイト	勤工俭学	生き物	生物
アルバム	相册	生きる	活，活着
あれこれ	这个那个	戦	战争，战斗
荒れる	狂暴，汹涌	池	池，水池
泡	泡	池田	池田
淡い	淡的，浅的	いけない	不好，糟糕
慌ただしい	匆忙，慌张	いける	插，栽
哀れ	哀怜，怜悯	以後	以后
哀れむ	同情，怜惜	以降	以后
安易	容易，估计不足	意志	意志
暗記	记住，背	意地	志气，要强
暗唱	背诵	石川	石川
暗示	暗示，示意	異質	不同性质
案じる	担心，挂念	いじめる	欺侮
安静	安静	異常	异常
安定	安定	いじる	弄，摆弄
あんな	那样的	意地悪い	心眼坏
あんなに	那样地	偉人	伟人
(い)		医術	医术
意	意，心意	異色	异色
言い表す	表达，说明	いずれ	哪个，什么
言い換える	换句话说	依然	依然，仍旧
言い付ける	命令，吩咐	いそいそ	高高兴兴
言い直す	重说，再说一遍	依存	依存，依靠
委員	委员	板	板
言うまでもない	不用说，当然	委託	委托

补充词汇表 I

いたづら	淘气
至る	至，到
偉大	伟大
位置	位置
一位	首位，第一
一概に	一概
著しい	显著，明显
一度	一次，一回
一人前	成人，一个人的份儿
一面的	一大片，满
一流	一流
いつか	不知不觉，曾经
一举	一举
いつくしむ	怜爱，疼爱
一見	一见，一看
一心	同心，专心
いっそ	宁可，索性
一定	统一，固定
一杯	一杯，满，全部
一遍	一遍
偽り	谎言，虚伪
意図	意图，心意，打算
糸	线
井戸	井
異同	异同
糸口	线头，开端
いとし	可爱，可怜
営む	经营，办，做
以内	以内
委任	委任
井上	井上

違反	违反
いびき	鼾声
いまさら	现在才……，事到如今
いまだに	仍然，尚
イメージ	形象，印象
いやいや	不，决不是
嫌々ながら	勉强，不愿意
医薬書	医药书
卑しい	卑鄙，下贱
いよいよ	更，越发，终于
イラク	伊拉克
イラン	伊朗
射る	射
入れ替える	换，改换，改变
入れ代わる	替换，交换
入れ物	容器，器皿
いろは	初步，入门
いろり	地炉，炕炉
いわば	说起来
因果	因果
インク	墨水
引用	引用
(ろ)	
植木	庭院的树木，盆栽
魚	鱼
浮かび上がる	浮起，漂起
うがい	漱口
浮く	浮
受け入れる	接受，采纳
受け身	被动
受け持つ	担任，担当

补充词汇表 I

渦	漩涡
薄暗い	发暗, 微暗
打ち上げ	发射
打ち消し	否定, 取消
内田	内田
打ち明ける	说出, 坦率
打ち込む	打进, 投进
打ち解ける	融洽
うちひしがれる	打碎, 打败
有頂天	欣喜若狂
うちわ	团扇
うつ	打, 敲, 拍
写す	抄, 摹写, 写作
移す	迁, 移, 变动
映す	映, 照
うっかしい	郁闷
うっとり	出神, 心荡神驰
うつろだ	空, 空心
雨天	雨天
疎んじる	疏远, 冷淡
うなる	呻吟, 吼声, 节拍
うねる	弯曲, 蜿蜒
埋まる	埋, 占满
産む	生, 产
埋もれる	埋上, 埋下
うめく	呻吟
敬う	敬, 尊敬
裏	背面, 反面
裏表	正反面, 表里
裏返す	翻过来
裏付け	证据, 根据
うらやましい	令人羡慕

うらやむ	羡慕
得る	得到, 领会
潤す	润, 湿
憂える	担心, 忧虑
上の空	心不在焉
運営	办, 经营
うんと	很多, 使劲
運命	命运
運用	运用, 活用

(え)

永遠	永远
英国	英国
衛生	卫生
永続	持久
英雄	英雄
笑顔	笑脸
絵かき	画家
液	液
エジソン	爱迪生
エジプト	埃及
会釈	点头, 打招呼
エチケット	礼节, 规矩
会得	领会, 理解
偉い	伟大, 了不起
縁	缘, 缘分, 套廊
円滑	圆满
延期	延期
演技	演技
演出	演出
援助	援助
演じる	演
遠足	远足

补充词汇表 I

延長	延长, 延伸	怠る	怠慢, 懶惰
円満	圓滿	幼い	幼小, 幼年
	(お)	おさまる	收納, 平定, 平息
おあがり	請進	惜しい	可惜, 遺憾
オーバー	大衣	おしまい	完了, 最后
生い立ち	成長	惜しむ	愛惜, 珍惜
おいで	去, 来, 在	雄	雄, 公
追い抜く	超过, 赶上	恐ろしい	可怕, 惊人
追い払う	轰走, 赶走	お互い	互相
黄金	黄金	おとし	前年
応接	应接, 接待	劣る	劣, 次, 不如
横断	横断, 横切	踊る	跳舞, 舞蹈
おおう	复盖, 蒙上	衰える	衰弱
おおかた	大概, 大约	脅す	威胁, 恫吓
大蔵	国库	鬼	鬼
おおざっぱ	草率, 粗枝大叶	各々	各自, 分別
おおむね	大约, 大致	おのずから	自然而然
公	公, 公家, 公开	帯びる	佩带
おおよそ	梗概, 大体	おぼれる	淹, 溺
おかしい	可笑, 奇怪	おまけに	而且, 再加上
犯す	犯, 冒犯	思いがけない	出乎意料, 意外
岡田	冈田	思い切って	下决心, 断然
拝む	拜, 叩拜	思い付く	想出来, 想起
岡山	冈山	思いのほか	意外, 没想到
おかゆ	粥	思いやり	关怀, 体谅
沖	海上, 海面	面影	影像, 面貌
起き上がる	起来, 站起来	重たい	沉重
補う	补充, 补偿	主な	主要的
奥	里头, 内部, 深处	重荷	重载, 重货
屋上	房顶	おもはゆい	害躁
臆病	胆小, 胆怯	趣	意思, 内容
送りがな	送假名	重り	秤砣, 砝码

补充词汇表 I

オランダ	荷兰	開拓	开拓, 开垦
折り	折, 折叠	開通	通车
織り上げる	织成	開店	新商店开市
折り返す	折迭	回答	回答
折る	折	該当	相当, 符合
愚か	愚笨	買い取る	买过来
恩	恩, 恩情	介入	介入, 插手
音節	音节	概念	概念
温带	温带	回避	回避
音訓	音训	解放	解放
音読	音读	解明	解释明白
(か)		カイロ	开罗
開会	开会	帰す	让……回去
外觀	外观, 外表	顧みる	回顾
概観	概观	返る	复原, 复归
懷疑	怀疑	かえる	青蛙
會計	会计, 算账	代える	代替, 代理
解決	解决	顔付き	相貌, 脸形
外見	表面, 外表	顔ぶれ	列名的人, 成员
外交	外交	薫り	芳香, 香气
外国語	外语	抱える	抱, 夹
悔恨	悔恨	掲げる	高举, 揭示
解散	解散	かかと	脚后跟
概して	一般, 大体上	輝かしい	辉煌, 光辉
解釈	解释, 理解	かかわらず	尽管, 虽然……
海上	海上	屈む	弯腰, 蹲下去
外人	外国人	書き上げる	写出, 写成
海水浴	海水浴	書き言葉	书面语
改正	改正	書き順	笔顺
改善	改善	書き手	写的人
階層	层, 阶层	書き取り	听写
回想	回想	書き振り	运笔的姿势, 笔迹

补充词汇表 I

かき回す	搅和, 弄乱	影	影, 影子
家業	家业	陰	日阴, 背光处
限りない	无限	がけ	山崖
欠く	缺, 缺少	駆け足	跑步
核	核, 核武器的略语	掛け声	号子, 助威声
各	各	欠ける	缺
画	画	かご	筐, 笼, 篮
かく	闻, 嗅	囲い	围子
家具	家具	下降	下降
学位	学位	火災	火灾
画一	划一, 统一	賢い	聪明, 伶俐
架空	架空	貸し出す	出借, 出租
学士	学士	頭	头目, 首领
革新	革新	過剰	过剩
かく然	愕然	箇条書き	分条写
各地	各地	かじる	啃, 咬
拡張	扩充, 扩张	かす	渣滓
確定	确定	微か	微弱
確保	确保	かすみ	彩霞
覚悟	觉悟	かすれる	掠过
各種	各种	稼ぐ	做工, 挣钱
各自	各自	数える	数
画数	笔划	固い	硬
拡大	扩大	刀	刀
かくて	于是, 这样	片方	一方, 一个
獲得	获得, 取得	傾く	斜, 倾
確認	确认	片寄る	偏, 偏于
革命	革命	語り手	说话的人
学問	学问	語る	说, 谈
学用品	学习用品	花壇	花坛
確立	确立	価値	价值
確率	概率	家畜	家畜

补充词汇表 I

学科
活気
画期
楽器
学期
学級
かつぐ
括弧
活字
合唱
課程
角
過度期
仮名遣い
金づち
必ずしも
かねて
兼ねる
株
かま
構う
鎌倉
紙くず
紙芝居
紙一重
貨物
かゆい
空
柄
カラー
～からこそ
空回り

学科
朝气
划时代
乐器
学期
班级
扛, 挑
括号
铅字
合唱
课程
角, 隅角
过度期
假名用法
铁锤
不一定
事先, 以前
兼, 兼带
股份, 股票
鎌
介意
鎌仓
纸屑, 废纸
连环画剧
微小
货物
痒
空
身材
彩色
正因为……
空转

絡む
仮
下流
火力
仮に
狩る
枯れる
かわいらしい
乾く
交わす
為替
代わり
管
缶
簡易
感慨
喚起
観客
完結
還元
頑固
感傷
干涉
勘定
肝心
感性
間接
感染
含蓄
缶詰
観点
感動詞

缠在, 缠绕
临时, 假的
下游
火力
假设
打猎
枯萎
可爱
干, 干燥
交换
汇款
代替, 代用
管子
罐
简易
感慨
唤起
观众
完结, 完毕
还原
顽固
伤感
干涉
计算, 算账
首要, 重要
感性
间接
感染
含蓄
罐头
观点
感动词

补充词汇表 I

観念	观念
看病	看护, 护理
願望	愿望
冠	冠
感銘	铭记, 感动
簡約	简化
慣用	惯用
元来	原来, 本来
管理	管理
簡略	简略
完了	完了
関連	关联
関与	干预, 参与
緩和	缓和
漢和辞典	汉和辞典

(き)

擬音	拟声
議會	议会
機関	机关
聞き手	听的人
棄却	抛弃, 不采纳
聞き分ける	听得出好坏
効く	有效, 生效
器具	器具, 仪表
機嫌	情绪, 问候
記号	记号
岸	岸
儀式	仪式
気質	气质, 性情
記述	记述
基準	基准
起床	起床

技師	技师
期日	规定的日期
擬人法	拟人法
傷	伤
奇数	奇数
築き上げる	缔造
期する	确信
既成	做好的
犠牲	牺牲
擬声	拟声
擬声語	拟声词
軌跡	轨迹
着せる	给……穿上
汽船	轮船
擬態	拟态
擬態語	拟态词
鍛える	锤炼, 锻炼
貴重	贵重
議長	议长
きちょうめん	一丝不苟
きつい	厉害, 严厉
きっかけ	机会, 契机
気取る	装腔作势
気の毒	可怜, 悲惨
規範	规范
基盤	基础
寄付	捐助
気味	心情, 情绪
奇妙	奇妙
義務	义务
木村	木村
疑問	疑问

补充词汇表 I

客観	客观	強力	强有力
脚本	脚本	行列	行列
救急	急救	漁業	渔业
窮屈	瘦小, 不自由	曲	曲
急行	快车	極	极
吸収	吸收	曲線	曲线
牛肉	牛肉	虚構	虚构
究明	研究明白	拒否	拒绝, 否定
寄与	有用, 有助于	許容	容许, 宽容
清い	清, 清洁	義理	情理, 情义
器用	手巧, 灵巧	ギリシヤ	希腊
行	行	規律	规律
強化	强化, 加强	きれ	小片, 布头
境界	境界	際	边际, ……的时
教会	教会		候
協議	协议	極まる	达到极限
競技	竞技	近畿	近几
行儀	举止, 动作	緊急	紧急
供給	供给	金魚	金鱼
教訓	教训	均衡	均衡
境遇	境遇	均等	均等
共產主義	共产主义	筋肉	肌肉
共產党	共产党	近年	近年
凝視	凝视	吟味	研究, 玩味
郷愁	乡愁	勤務	工作, 任职
恐縮	对不起, 羞愧	勤勞	勤劳, 劳动
行政	行政		(く)
競争	竞争	苦	苦
共存	共存	具合	情况, 样子
強調	强调	クアラルンプール	吉隆坡
協調	协调	食う	吃
恐怖	恐怖	空間	空间

补充词汇表 I

空虚	空虚，空洞
偶数	偶数
空想	空想
くぎ	钉子
区切る	分段，断句
くくる	捆，扎，绑
くぐる	钻，潜入
臭い	臭
鎖	锁链，链子
腐る	腐臭，腐烂
くし	梳子
苦心	苦心
くじく	挫，扭
くじける	沮丧，颓唐
くすぐる	搔，逗眼
くすぶる	干冒烟
くず	碎片，碎块
癖	癖，习气，脾气
具体	具体
砕く	弄碎
くたびれる	疲乏
下る	下降
口癖	口头语
くちばし	鸟嘴
口調	腔调，语调
覆す	弄翻
屈折	屈折，曲折
屈託	顾虑，操心
くつろぐ	舒适，舒畅
句点	句号
くどい	絮叨
苦悩	苦恼，痛苦

熊	熊
組	组，班
汲む	汲（水），打
クラスメート	同学
クラブ	俱乐部
くらむ	眼花
繰り返す	反复
グループ	组，集团
暮れる	天黑，日暮
企てる	企图，意图
訓	训读
軍	军队
群衆	大众，群众
軍隊	军队
訓練	训练

(け)

毛	毛
計	计算，计数
経緯	经纬
経営	经营
警戒	警戒
警官	警官
景気	景气
契機	契机，机会
軽減	减轻，减少
けいこ	练习
警告	警告
掲載	登载
揭示	布告，揭示
継承	继承
計上	计入，列入
形成	形成，组成

补充词汇表 I

形勢	形勢	決議	决议
輕率	輕率	結合	结合, 联合
攜帶	攜帶	結晶	结晶
形態	形态	決勝	决赛
形体	形态, 形体	決断	果断, 决心
毛糸	毛线	決定	决定
系統	系统	決心	决心
敬服	佩服	結末	结果, 收场
輕蔑	轻蔑	けとばす	踢开, 拒绝
契約	契约, 合同	懸念	担心, 悬念
經由	经过, 途经	下品	下流, 庸俗
形容詞	形容词	煙	烟, 烟雾
形容動詞	形容动词	煙る	冒烟
經歷	经历	獸	兽
汚れる	脏	下痢	泻肚
劇	剧	険しい	险峻
激励	激励	兼	兼
下校	放学	圈	圈
けしかける	唆使	權威	权威
消しゴム	橡皮	見解	见解
けじめ	区别, 差别	限界	界限, 限度
下宿	下宿, 公寓	謙虚	谦虚
下旬	下旬	現金	现金
化粧	化妆	言語	语言
下水	脏水, 污水	原稿	原稿
削る	削, 括	原稿用紙	稿纸
桁	横梁, 位数	原作	原作
げた	木屐	堅実	坚实, 可靠
けち	吝啬, 小气	原子力	原子力
決意	决心	嚴重	严重
血液	血液	健全	健全
血管	血管	見地	观点, 立场

补充词汇表 I

顯著	显著, 明显	皇后	皇后
堅調	行情上涨	交際	实际
限度	限度	工作	工作
憲法	宪法	交錯	交错
賢明	贤明	公算	可能性
懸命	拼命地	降参	投降
言明	言明, 说清	講師	讲师
權利	权利	行使	行使
原理	原理	校舍	校舍
權力	权力	後者	后者
言論	言论	公衆	公众, 大众
	(二)	交渉	交涉
後	后, 以后	公式	公式
濃い	浓, 深, 密	行進	行进
恋	恋, 恋情	恒星	恒星
故意	故意, 特意	攻勢	攻势
こう	甲	厚生	福利保健
行為	行为, 行径	公然	公然
好意	好意	功績	功绩
合意	同意, 意见一致	光線	光线
幸運	幸运	構想	构思, 情节
後援	后援	高速	高速
公開	公开	交替	交替, 轮流
後悔	后悔	耕地	耕地
公害	公害	校長	校长
合格	合格	皇帝	皇帝
好感	好感	校庭	校园
鉱業	矿业	合同	合同
攻撃	攻击	交番	派出所
高原	高原	交付	交付, 发给
交互	互相, 交替	校風	校风
孝行	孝顺, 孝敬	鉱物	矿物, 矿产

补充词汇表 I

公平	公平	心尽くし	好意，费心
巧妙	巧妙	心細い	心虚，胆怯
被る	蒙受，招致	心もち	心情，心境
項目	项目	快い	高兴，愉快
効用	用处，效能	凍える	冻，冻住
考慮	考虑	腰掛ける	坐下，坐
合流	合流，汇合	五十音	五十音
号令	号令，口令	こしらえる	做，制造
越える	越过，渡过	越す	越，过，渡
肥える	胖，肥	こする	擦，搓
呼应	呼应，响应	こそ	才是，才能
木陰	隐蔽处	ご存じ	知道，了解
木枯らし	寒风	古代	古代
五感	五种感觉	こだわる	拘泥
語感	语感	誇張	夸张
ごきげんよう	您好，一路平安	小遣い	零花钱，零用钱
こぐ	划，摇	国旗	国旗
極	最	国境	国境
語句	语句	こっち	这里，这边
国語辞典	国语辞典	固定	固定
国際主義	国际主义	ごと	每
国籍	国籍	事柄	事情，情况
国鉄	国有铁路	孤独	孤独
告白	坦白，自白	ことごとく	所有，一切
黒板	黑板	ことさら	故意，特意
国宝	国宝	言づける	托人带口信
穀物	谷物	ことに	特别，格外
個々	各个，每个	ことのほか	格外
心得る	领会，理解	ことわり	拒绝，推辞
心がける	留心，留意	こなれる	消化，熟练
志す	立志	こねる	唠叨不休
心使い	关怀，照料	木の葉	树叶

补充词汇表 I

好む	爱好，喜欢
拒む	不应允，拒绝
こぶ	瘤子，包
御無沙汰	久未访问，久未通信
こぼす	弄洒，洒掉
こま	陀螺
ごまかす	蒙蔽
こまごま	零碎，详细
込み合う	人多，拥挤
込み上げる	往上涌，涌现
込める	装填，倾注
ごめん	请允许，请准许
こもる	充满
顧問	顾问
小屋	小房，窝棚
肥やす	使……肥胖
小山	小山
暦	历书，日历
懲らしめる	惩罚
凝る	凝固
転がる	滚，倒下
殺す	杀，杀死
こわばる	发硬，变硬
根気	耐性，毅力
根拠	根据
根源	根源
混戦	混战
根底	根底，基础
混同	混同
根本	根本

(さ)

際	之际
差異	差异
細工	手工艺，工艺品
歳月	岁月
再現	再现
採算	核算
財産	财产
採集	采集
最小	最小
最少	最少
際する	当……之际
最善	最善，最好
催促	催促
最大	最大
裁断	切断，截断
採点	评分
災禍	灾难
裁判	裁判
材木	木材
サイン	签名
さえ	连，甚至
遮る	遮，遮挡
さえる	清晰，鲜明
さお	竹竿
坂	坡，斜坡
境	界线
栄える	繁荣
さかさま	倒，逆
搜し回る	到处找
さかのぼる	逆流而上
逆らう	逆，违反
先立つ	站在前头，带头

补充词汇表 I

敷居	门槛, 门坎	持統	持续
色彩	色彩	慕う	怀念, 敬仰
じきに	立即, 马上	下書き	试写, 草稿
至急	火急	親しむ	亲近, 亲密
事業	事业	自治	自治
しきりに	频频, 再三	質	质, 质量
仕組み	构造, 结构	実感	实感
字形	字形	しつけ	教育, 管教
刺激	刺激	実験台	实验台
自己	自己	しつこい	纠缠
事項	事项	実在	实际存在, 实在
地獄	地狱	実質	实质
志向	志向	実証	证实, 证据
施行	施行, 实施	実情	实情
思考	思考	実績	实绩
示唆	暗示, 启发	実践	实践
思索	思索	質素	朴素, 俭朴
資産	资产	実態	实态
使者	使者	執筆	执笔
詩集	诗集	しっぽ	尾巴
支持	支持	事典	事典
指示	指示	しなやか	柔软, 温柔
事実	事实	しのぐ	忍耐, 熬过
始終	始终	しのぶ	暗中做, 隐藏
指針	指针	支配	统治
自身	自身	芝生	草坪
指数	指数	縛る	捆, 绑, 扎
沈みかける	要沉	慈悲	慈悲
沈む	沉, 落	字引	字典
姿勢	姿势	渋い	涩, 阴沉
視線	视线	渋る	不流畅
思想	思想	四方	四方, 四面

补充词汇表 I

時報	报时
しぼむ	枯萎
絞る	拧, 挤
資本	资本
姉妹	姐妹
始末	始末
地味	素气, 朴素
清水	清水
染みとおる	渗透
事務	事务
使命	使命
締め切り	截止
占める	占
霜	霜
社	社
しゃがむ	蹲下
ジャカルタ	雅加达
弱点	弱点
尺度	尺度, 标准
釈放	释放
写生	写生
若干	若干
車道	车道
しゃべる	谈, 说, 聊
邪魔	妨碍, 访问
斜面	斜面
砂利	碎石
しゃれ	打扮漂亮
じゃんけん	划拳
首位	首位
周囲	周围
収益	收益

縦横	纵横
集会	集会
周期	周期
衆議	众议
就業	就业
集合	集合
秀才	秀才
終始	终始
修士	硕士
収支	收支
重視	重视
従事	从事
収集	收集
修飾	修饰
修飾語	修饰词
習字	习字
修繕	修缮, 修理
従属	从属
重大	重大
集団	集团
じゅうたん	地毯
周知	人所共知
羞恥	羞耻
執着	迷恋, 贪恋
終点	终点
重点	重点
柔軟	柔软, 弹性
就任	就任
重箱	盛食物用的套盒
重要	重要
終了	完结, 结束
重量	重量

补充词汇表 I

正体	原形, 真面目
承知	知道, 了解
象征	象征
焦点	焦点
勝敗	胜败
賞品	奖品
勝負	胜败
照明	照明
正面	正面
勝利	胜利
省略	省略
食物	食物
所在	所在
書写	书写
初心	单纯
書体	字体
所得	所得
処罰	处罚
処分	处分
署名	署名
書名	书名
所有	所有
処理	处理
知らせ	通知
しり	臀部
知り合い	熟人, 友人
退く	退, 后退
市立	市立
しり取り	(游戏)接尾令
しり目	斜眼看
汁	汁
シルクロード	丝绸之路
知れる	被人知道
素人	外行
仕業	操作, 开动
人員	人员

新鋭	新生力量
人格	人格
審議	审议
心境	心境, 心情
神経	神经
人権	人权
進行	进行
信仰	信仰
振興	振兴
深呼吸	深呼吸
申告	申报
審査	审查
人事	人事
神社	神社
心情	心情
侵蝕	侵蚀, 侵占
真実	真实
心身	身心
申請	申请
真相	真相
身体	身体
信託	信托, 委托
慎重	慎重, 谨慎
進度	进度
振動	振动, 摆动
神道	(日本)神道
神秘	神秘
人物	人物
シンボル	象征
親友	亲友
信用	信用
真理	真理
侵略	侵略
森林	森林
	(す)
推移	推移